



青山学院大学

教育人間科学部

2022

伝統を受け継ぎ 新たな領域に挑む

AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY
COLLEGE OF EDUCATION, PSYCHOLOGY AND HUMAN STUDIES



教育 × 心理 = 人間 を総合的に学ぶ

教育人間科学部

伝統を受け継ぎ
新たな領域に挑む

教育人間科学部の前身である文学部教育学科と心理学科は、共に文学部における長い歴史を持ち、多くの有能な人材を社会に送り出してきました。その特色ある教育内容は、幅広い分野で高い評価を得ています。教育人間科学部は、これまでに培われた教育の伝統と人的ネットワークを継承した高い信頼性を備えていることが特長です。

人間の理解と他者との協働を目指して

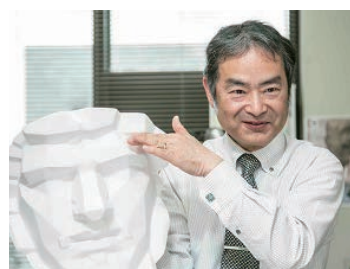
教育人間科学部は2009年度に、教育学科と心理学科のコラボレーションにより誕生しました。両学科は長らく文学部の中にありましたが、両学科を統合・独立することで、教育学・心理学が個別に焦点化してきた、子ども・青少年の発達・教育・心理に関する研究だけでなく、その研究対象を乳幼児から高齢者までの生涯にわたる視野を持つ人間研究に広げる素地ができました。結果として、幅広い領域を学ぶ環境が整えられ、様々な見地から人間を考察することのできるプラットフォームができあがったのです。

人間を理解する—この永遠のテーマが本学部の教育研究の中核ですが、その目的は、本学の建学の精神である「地の塩」「世の光」としての自覚をもって、現代社会の諸問題の解決を志し、社会の要請に貢献できる高度な専門性を有し、かつ他者と協働できる人材を育成することにあります。人材養成の具体例として、教育学科は教育職員免許その他の資格の教育課程を擁し、心理学科は公認心理師、臨床心理士の養成プログラムを整えていることが挙げられますが、本学部の卒業生は、それにとどまらず、業種、職種を越えて多様な社

会場でサーバントリーダーとして活躍しています。

学部開設以降も、両学科の専門科目ならびに英語教育のカリキュラムの大幅な改革を行っています。今後も時代に即応した教育研究の環境を作り、有為な人材の育成を目指します。

教育人間科学部 学部長
遠藤 健治





沿革

教育学科のあゆみ

心理学科のあゆみ

1950	私立大学の中でいち早く特色ある教員養成を行う目的で文学部教育学科・第二部教育学科設置
1958	大学院文学研究科 心理学専攻修士課程設置
1963	大学院文学研究科 教育学専攻修士課程設置
1965	大学院文学研究科 教育学専攻博士課程設置
1974	大学院文学研究科 心理学専攻博士課程設置
2001	文学部心理学科設置
2007	「昼間主コース」「夜間主コース」の2コース制を一本化
2009	教育人間科学部に改編 大学院教育人間科学研究科設置
2013	2013年4月から全学年の教育課程を青山キャンパスで実施
2020	「一般心理コース」「臨床心理コース」開始



INDEX

教育人間科学部

学部長あいさつ／沿革	1
教育人間科学部の学び	2
卒業生からのメッセージ	4

教育学科

5

学びの特色	
カリキュラム	
授業紹介	
教員からのメッセージ	
在学生の声	

心理学科

15

学びの特色	
カリキュラム	
授業紹介	
教員からのメッセージ	
在学生の声	

インフォメーション

キャンパスガイド	25
特別教室・実験室	26
国際交流・留学	27
奨学金・表彰制度	28
卒業後の進路	29
Q & A/Information	32

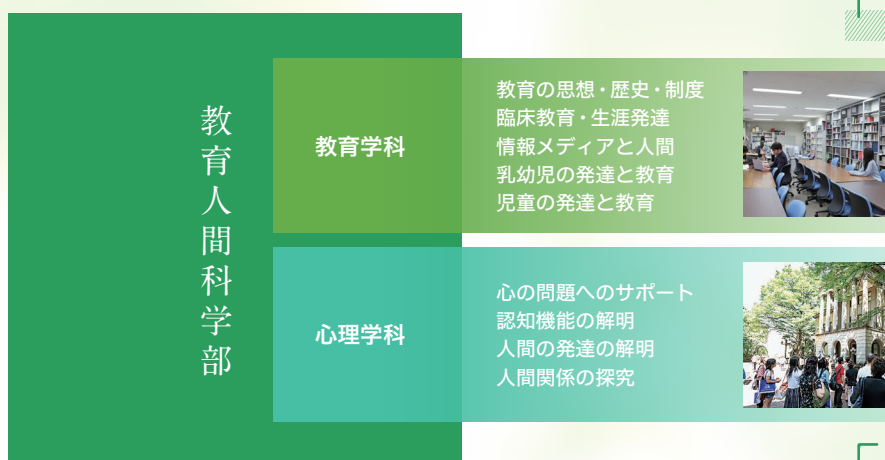


教育人間科学部の学び

理論的な知と実践的な知を身につける

教育人間科学部では、問題の解決に向けて行動できる自己教育力のある人材の養成をめざしています。このため理論的な知と実践的な知を身につけることができるバランスのよい学習プログラムを整備しています。また、一人ひとりの人間に焦点を合わせたアプローチを重視しています。

「臨床」の領域



「発達」の領域

共通の
4つの

教育×心理による

人間の探究

4つの領域

2つの学科が提携することで、乳幼児から高齢者までの様々なライフステージにある人間の発達・教育・心理に関する多様な科目が集積され、人間をより総合的に学ぶことができます。

「臨床」の領域

理論的な知識習得のみならず、現代社会でのいじめや非行、不登校、虐待、ストレス、適応困難などの問題に取り組み、それらを解決することができる実践的な人材の育成をめざし、「臨床の知」を育成します。

【科目例】

- 臨床教育学総論
- 社会福祉概論
- 相談心理学A、B
- 高齢化社会と教育 など

- 臨床心理学概論Ⅰ、Ⅱ
- 家族心理学
- 障害者・障害児心理学
- 心理学的支援法A、B
- 教育・学校心理学
- 心理面接法A、B など

「発達」の領域

ヒトは生まれてから老齢にいたるまで、周りの人々や環境との相互作用を経て、常に成長・発達し、また自分も、周りの人々の成長、発達を促すものとして社会・文化を構成しています。ヒトをこのような動的なプロセスの中に位置づけることで、人間の理解が深まります。

【科目例】

- 教育心理学概説
- 比較発達社会学
- 生涯発達心理学Ⅰ、Ⅱ など

- 発達心理学概論
- 発達心理学Ⅰ、Ⅱ
- 発達心理学特講A、B
- 臨床発達特講A、B、C など

※ ■ 教育学科 ■ 心理学科の科目を示します。

人間の多様な側面を総合的に学ぶ

教育と心理の共通領域である「臨床」「発達」「情報」「身体」を学ぶとともに、教育、心理それぞれの分野における専門知識を習得することができます。人間が果たす役割、その行動や思考、人間と人間の関わり合いやコミュニケーションなど、人間の多様な側面を総合的に学んでいきます。

「情報」の領域

多様な進路

カウンセラー
病院・医療機関
学校・教育相談機関
人事考課
学務管理 } 一般企業

児童相談所
マスコミ・通信関係
情報専門職
金融保険関係

出版
家庭・地域の
「心の問題」相談
サービス関係
大学職員

幼稚園教諭*
小学校教諭*
中学校教諭*
高等学校教諭*
教育関連企業

*教員免許状は教育学科のみ取得可能

さらに高度な学びを目指して
大学院へ進学

社会での活躍・貢献

「身体」の領域

「情報」の領域

現代社会の中で人間の問題を解決するには、科学的な方法論と情報技術を身につけることも必要です。データを集め、分析し、解釈し、解決策を見いだす「ソリューション」は企業でも重視されています。また情報を発信する際や、何かを主張する際にも情報スキルは必要です。

【科目例】

- 教育情報学総論
- メディア・コミュニケーション総論
- インターフェース論
- 図書館情報学概論 など

- 心理学統計法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
- 心理統計基礎
- 心理学実験プログラミング など

「身体」の領域

人間の行動や成長、変化を理解したり、人間に関する諸問題を解決したりするには、脳と神経系、身体の仕組みと機能についての知識も必要です。「生物」としての人間理解を深めることができるのも、教育人間科学部の大きなメリットです。

【科目例】

- 小児精神神経学
- 小児保健論
- 小児栄養学 など

- 神経・生理心理学
- 健康・医療心理学
- 人体の構造と機能及び疾病
- 精神疾患とその治療 など

青山スタンダード科目

「青山スタンダード」は、学部・学科の枠を越えて履修する全学共通的教育システムです。1年次配置のフレッシュヤーズ・セミナー、ウェルカム・レクチャー、キャリアデザイン・セミナー、1・2年次配置のコア科目、2～4年次配置のテーマ別科目から構成され、さまざまな分野の「教養」と「技能」を身につけることができます。

教 養 【科目例】

- キリスト教理解関連** キリスト教概論Ⅰ、旧約聖書と人間、キリスト教と自然科学、キリスト教政治倫理 など
- 人間理解関連** 自己理解、哲学A,B、倫理学A,B、倫理学A,B、言語学A,B、日本語学A,B、論理学の諸問題A,B、平和を考えるA,B など
- 社会理解関連** 現代社会の諸問題、国際政治経済学A,B、現代社会と教育人間学A,B、マスメディアと社会、日本の法と社会A,B、情報社会論、環境問題と社会 など
- 自然理解関連** 科学・技術の視点、日常生活の数理、宇宙科学、鳥類と生物多様性、先端エレクトロニクス、バイオテクノロジーと生命倫理 など
- 歴史理解関連** 歴史と人間、青山学院大学の歴史、日本社会史A,B、考古学A,B、現代史A,B など

技 能 【科目例】

- 「言葉の技能」** 英語Ⅰ、フランス語Ⅰ、ドイツ語Ⅰ、スペイン語Ⅰ、中国語Ⅰ、ロシア語Ⅰ、韓国語Ⅰ、アメリカ合衆国の社会と文化A,B など
- 「身体の技能」** 健康・スポーツ演習、健康医学、スポーツ運動実習 など
- 「情報の技能」** 情報スキルⅠ、コンピュータプログラミング、データ分析入門、コンピュータと社会 など
- 「キャリアの技能」** 感性ビジネスA,B、国際ビジネス入門A,B、キャリアデザイン基礎 など

教育学科

子どもの世界と出逢って

飯田 万由

愛育幼稚園教諭

[2019年教育人間科学部教育学科卒業]

[2021年教育人間科学研究科教育学専攻修了]



私は、教育学科の授業で、子どもや子どもの遊びの世界の面白さを感じ、保育者になりたいと思いました。保育や学びとは何なのかなど、教育について様々な面から学んだことは、私自身の考えの幅を広げ、子どもたちだけではなく、様々な人たちとかかわっていく礎となっています。

大学院では、保育現場で子どもたちとかかわりながら研究を進め、保育の奥深さを日々感じる事ができました。また授業では、少人数で先生方と密にディスカッションすることができ、様々な教育分野の視点から自らの考えを深められました。それは子どもたちとかかわる上でとても役立っています。

しかし、保育現場で働いてみると、保育の悩みはつきません。その中で子どもとかかわる楽しさを感じながら毎日を過ごせるのは、教育学科で知った「保育や子どもの世界の面白さ」を実際に味わえているからだ実感しています。

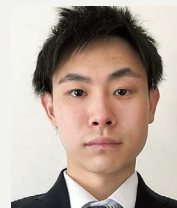
教育学科での学びと経験は、皆さんのこれからの人生をとても充実したものにしてくれると思います。教育学科で豊かな時を過ごせることを願っています。

人と人をつなぐ

唐澤 佑輔

株式会社ニシヤマ

[2021年教育人間科学部教育学科卒業]



私は教育という手段を通じて、人と人とのつながりを学びたいと思ったので、教育学科を選びました。教育学科では学校教育に限らず家庭教育であったり、職場における先輩後輩の関係であったり、さまざまなコミュニケーションの形を学ぶことができました。私はいま営業職として働いていますが、在学中に学んだことを活かして社内・仕入先・顧客との円滑な意思疎通をはかっています。顧客の要望を引き出し、商社という立場で仕入先と顧客の間に入り、仕入先へのフィードバックを通じてともに課題解決に取り組んでいます。明確な答えがなく、またアプローチの方法も数多くある中で、周囲との綿密なコミュニケーションを通じて課題を明確化し、少しずつ解決に近づけていくことにやりがいを感じています。

みなさんも青学でかけがえのない仲間とともに、一度しかないキャンパスライフを、悔いのないように思う存分満喫してください。

心理学科

学びと仲間

斎藤 幸人

医療法人社団 晴心会 比賀クリニック

[2014年教育人間科学部心理学科卒業]



私が青山学院大学の心理学科を選んだのは、認知・発達・社会・臨床など、様々な分野を幅広く学べる体制に惹かれたからです。私は学部卒業後に大学院へ進学し、現在は医療の現場で公認心理師・臨床心理士として働いていますが、臨床の現場で悩みを抱える人と向き合うには多様な知識や視点が必要となります。学生時代に心理学を幅広く学べたことが、色々な方の悩みを受け止め共感する助けになっていることを日々実感しています。

また学生時代に繋がりを持てた友人にはとても感謝しています。心理職として働くなかで自分自身の心が疲れてしまう時もあります。そんなとき、同じ学問を学んだ理解しあえる存在がいることは強い心の支えになります。学生同士の繋がりが強いことも心理学科の良さだと感じます。

心理学に興味をお持ちの皆さんが心理学科に入学され、充実した環境で学び、良い出会いに恵まれることを心から願っています。

人と組織の原点を学ぶ

安藤 健

株式会社人材研究所 シニアコンサルタント

[2016年教育人間科学部心理学科卒業]



私は今、人事コンサルタントという仕事に就いています。人事といってもあまりイメージがわからないかもしれませんが、「人に関する事」という字の通り、組織の中で皆がどうしたら楽しくやりがいをもって働くことができるかを本気で考える仕事ともいえます。

心理学科で学んだ知識をフル活用できるこの仕事に私はとてもやりがいを持っています。しかし、大学入学当初はこの結果を想像していませんでした。入学当初は臨床心理士を目指していた私が、結果的に今の道を選んだのは青学心理学科での様々な人との出会いによってです。

心理学では、「計画された偶発性」という理論があります。

人生を変える出会いやきっかけは、えてして偶然から始まります。人生が偶然によって左右されるならば、私達にできる最良策は、その偶然をできるだけ呼び込むよう計画することでしょう。皆さんも、こうでないといけないと最初からゴールを決めずに、素敵な偶然と出会うことを祈っています。

教育学科

Department of Education



教育学の専門的な知識・技能を持ち、
社会の幅広い分野で活躍できる人材を育成します。

「人間は教育によって初めて人間になることができる。」ドイツの大哲学者カントのこうした言葉に表されるように、教育とは人間が社会的生活を営む上で不可欠であり、そして普遍的なものです。教育学科の学びでは、「教育とは何か」「学びとは何か」という問いに対してさまざまな角度からアプローチし、教育の本質・理想的な姿を追究するとともに、その担い手である人間という存在への理解を深めていきます。

人間の一生における成長過程をとらえる

教育は社会人になる前の人間のみを対象としているわけでも、学校という限られた場所だけで行われるわけでもありません。家庭や社会の幅広いシーンで生涯にわたって行われているものです。教育学科のカリキュラムでは、乳幼児期から老年期に至るライフサイクルの中で、人間がどのように発達・学習・社会化・成熟していくかについて専門的に学びます。

専門性を高める5つの専門コース

教育学科では、興味の対象や将来の進路に合わせて選べる履修コースを設置しています。

「人間形成探究」「臨床教育・生涯発達」「教育情報・メディア」「幼児教育学」「児童教育学」の5つのコースがあり、所属コースの決定は2年次に行い、3年次からコースのカリキュラムにしたがって学習を進めます。

4年間の学びの流れ

1年次	2年次	3年次	4年次
●「教育とは何か」など、教育学の基礎を学びます。 ●理論と実践の関連を学び、次段階への導入とします。 [科目例] 教育学概説／教育心理学概説／基礎演習I・II／人間形成学総論／学校教育学総論／教育情報学総論／臨床教育学総論など	●所属コースの選択に向け、各自の関心に沿って、専門分野を絞り込んでいきます。 ●教育学の各領域の研究方法をゼミナール形式で学びます。 [科目例] 教育学研究法／応用演習I・II／宗教教育学／図書館情報学概論／教職論(初等)／社会福祉概論／認知科学概論など	●各コースの専門科目を学びます。他のコースの専門科目を履修することも可能です。 ●必修科目としてゼミナール形式の「専門演習」がスタートします。 [科目例] 専門演習I・II／比較教育学／青年期と教育／小児保健論など	●これまでの学びの集大成として、「卒業研究」に取り組みます。 [科目例] 卒業研究I・IIなど

カリキュラム

カリキュラムの特色

教育学科のカリキュラムは、8つの科目群で構成されており、さまざまな学生の興味や関心に対応できる多様な科目を含んでいることが特徴です。0群には、教育学科に入学したすべての学生が履修すべき科目が配置されています。

3年次より5つのコースのいずれかを選択し、I～V群の各コースに定められた科目の履修を中心に、進路もふまえて学習・研究を進めていきます。もちろん、自分の選択したコース以外の科目を履修することも可能です。1～4年次の全学年に演習科目を配置し、少人数教育を行っていることも特色のひとつです。また、VI群・VII群の科目を履修することもできます。



進路に向けての5つのコース

人間形成探究コース

人間形成というテーマを、歴史学、哲学、宗教学、倫理学、文化人類学、言語学などの観点から幅広く探究します。人間観、教育観の歴史的な変遷、家庭、文化、社会と人間の関わり方の考察を通して、現代の人間と教育を根本から捉え直します。

[履修科目例]

日本教育史I・II、西洋教育史I・II、教育哲学A・B、比較発達社会学、家庭教育 など

臨床教育・生涯発達コース

人間の乳幼児期から老年期に至るライフサイクルの中で、発達、学習、教育がどのように実現されているかについて、その理論および実際を学びます。

[履修科目例]

小児精神神経学、障害者・障害児の教育と医学、生涯学習概論I・II、高等教育論A・B、社会教育実践研究、高齢化社会と教育、青年期と教育、ボランティア教育論 など



取得可能な資格

教育学科では、幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教員免許状を取得することが可能です。
教員免許状を取得するためには、1～4年次に指定の科目を履修し、4年次に教育実習を行う必要があります。
また司書教諭、司書、社会教育主事、学芸員、学校司書の資格取得をめざすこともできます。

指定科目の修了で卒業時に取得可能な資格

- 教員免許状 [幼稚園1種/小学校1種/中学校1種(国語、社会、英語)
高等学校1種(国語、地理歴史、公民、英語)]
- 司書教諭
- 司書
- 社会教育主事 [必要単位取得]
- 学芸員
- 学校司書 [養成プログラム]

教育学会

教育研究を深め幅広い交流を育む

教育学会は、学部生、大学院生、専任教員、賛助会員で構成され、教育に関する幅広い研究と会員の交流を行っています。研究活動としては、教員採用試験対策ワークショップ、研究発表会、講演会、映画会などを開催し、研究紀要を刊行しています。また、学生が主体となって、新入生オリエンテーションや卒業パーティを実施し、広報活動として「教育学会会報」を年1回発行しています。

学科データ

(2021年5月1日現在)

授与学位/学士(教育学)
入学定員/188名
学 生 数/男子263名、女子513名



教育学科では、興味の対象や研究テーマ、卒業後の進路に向けて5つのコースを設置しています。
3年次からコースに分かれて専門性を深めます。

教育情報・メディアコース

情報環境の中で生活し、そこで学び、発達する人間を多様な観点から捉えます。情報の伝達的な側面を情報社会学、図書館情報学の観点から、情報の受容理解創造の側面を認知科学、発達、学習科学から研究します。

【履修科目例】

学校経営と学校図書館、視聴覚教育メディア論、インターフェース論、知的表現論、教材開発論、情報メディア利用論、読書教育論、図書館情報学実習A.Bなど

幼児教育学コース

将来、幼児教育に携わることをめざす学生のために、幼児の発達・教育の理論と実践的知識技能を学びます。

【履修科目例】

幼児教育原理A.B、児童福祉論、臨床保育学A.B、保育方法研究A.B、保育内容総論A.B、小児保健論、小児栄養学、保育内容教育法(健康)など

児童教育学コース

将来、児童教育に携わることをめざす学生のために、児童の発達、学習、教育の理論と実践的知識技能を学びます。

【履修科目例】

初等教科教育法(国語科)・(算数科)、教育相談(初等)、道徳教育指導法(初等)、教育学校心理学、初等教育原理A.B、算数概説A.B、理科概説A.B、体育概説(理論)・(運動)、社会科概説、生活科概説、初等英語概説 など

授業時間について

授業時間は原則1～5時限で配置されています。
なお、学科科目配置の都合により6時限にも配置することがあります。
6時限は18:30より20:00までです。

教育研究上の目的

教育学科は、幅広い教養と、教育に関する深い専門的識見を兼ね備えた上で、より良い社会の形成に寄与しようとする意欲をもつ人材の育成を目指す。また、人間の成長と発達に関する学問分野に基礎を置き、様々な社会や環境において主体的に生きる人間と、その人間が果たす役割、行動や思考、人間と人間の関わり合いやコミュニケーションを研究する。

3つのポリシー

ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)

■知識・技能

全学的な教養教育と教育学に関する専門教育によって、人間の一生における成長過程を幅広く捉えることのできる理論的な知と実践的な知を有している。

■思考力・判断力・表現力

ますます多元化し複雑化する現代社会における諸問題を理解し、それを明らかにする科学的探究などに必要な対応能力(思考力・判断力・表現力を含む)を有している。

■意欲・関心・態度

教育の本質と理想的な姿を追求するとともにその担い手である人間という存在への理解を深めようとする意欲(関心・態度を含む)を有している。

カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施の方針)

教育学科は、学科の人材育成目的の達成のため、(1)語学教育として外国語科目(英語科目)、(2)教養教育として青山スタンダード科目(第二外国語科目を含む)、(3)専門教育として以下の教育学科学科科目によって教育課程を編成する。

■教育学科学科科目

- 第0群:教育学の基盤に関わる科目群
- 第Ⅰ群:人間形成探究に関わる科目群
- 第Ⅱ群:臨床教育生涯発達に関わる科目群
- 第Ⅲ群:教育情報メディアに関わる科目群
- 第Ⅳ群:幼児教育学に関わる科目群
- 第Ⅴ群:児童教育学に関わる科目群
- 第Ⅵ群:中等教育に関わる科目群
- 第Ⅶ群:キリスト教教育に関わる科目群

段階(学年)ごとの科目構成・配置については、次の方針を取る。すなわち、基礎教養の基盤を人間の総合的研究と位置づけ、1・2年次においては、外国語科目(英語科目)と青山スタンダード科目(第二外国語科目を含む)を履修の中心に据え、かつ教育学の各学問領域に対応する基礎的な教育学科学科科目(上記第0～Ⅶ群において必修科目選択必修科目を指定)を通して学習を進める。3年次以降は、教育学のより専門的な学習を進めるため、教育学に関わる様々な課題について、5つの履修コース(科目群)、すなわち第Ⅰ群科目を中心に学ぶ人間形成探究コース、第Ⅱ群科目を中心に学ぶ臨床教育・生涯発達コース、第Ⅲ群科目を中心に学ぶ教育情報・メディアコース、第Ⅳ群科目を中心に学ぶ幼児教育コース、第Ⅴ群科目を中心に学ぶ児童教育コースとして教育学科学科科目を履修する。

また、科目・構成配置にあたっては、次の諸点に留意する。
1)講義科目を中心に、文化と社会の中に生きる人間の身体的・心理的発達のメカニズムと教育との関係のあり方を理論的・実践的に幅広く学び、知識・技能を培う。
2)必修の演習科目である教育学科学科科目(1年次の「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」、2年次の「応用演習Ⅰ」「応用演習Ⅱ」、3年次の「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」、4年次の「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」など)、および実習科目を中心に、思考力・判断力・表現力を培う。
3)選択した履修コース(科目群)以外の科目群などからも科目を履修できることによって、幅広く学習分野が多様で、選択幅が広く、履修上の制約が小さいカリキュラムを設定し、個々の学生が、人間形成と社会のあり方を広い視野から学び、修得した優れた独創的な専門性を活かし、将来の方向性を的確に選択できるよう、意欲・関心・態度を培う。

アドミッションポリシー (入学受入れの方針)

■知識・技能

国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語などについて、高等学校卒業相当の知識を有している。

■思考力・判断力・表現力

人間と社会について、論理的に思考判断し、自らの考えを適切に表現することができる。

■意欲・関心・態度

人間の成長・発達・形成について深い関心をもち、教育の問題を幅広い視野から探求し、教育学と隣接分野について学ぼうとする幅広い知的好奇心と強い意欲を有している。

学科科目

DEPARTMENT OF EDUCATION

卒業要件単位数

学科科目	58単位 [必修30単位・選択必修28単位]
外国語科目	10単位
青山スタンダード科目	26単位
自由選択科目	34単位
合 計	128単位

			1年次	2年次	3年次	4年次
学科科目	0群	必修科目群	教育学概説 教育心理学概説 教育制度概説 教育思想概説 基礎演習Ⅰ,Ⅱ	教育学研究法 応用演習Ⅰ,Ⅱ	専門演習Ⅰ,Ⅱ	卒業研究Ⅰ,Ⅱ
	Ⅰ群	人間形成に関する専門科目群	日本教育史Ⅰ,Ⅱ 比較発達社会学 生涯発達心理学Ⅰ,Ⅱ 人間形成学総論 教育社会学総論	西洋教育史Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ 宗教教育学 教育哲学A,B キャリア教育A 家庭教育	教育史特殊講義 異文化理解教育 教育学特論A,B キャリア教育B 比較教育学 教育学特論C,D	
	Ⅱ群	臨床教育・生涯発達に関する専門科目群	臨床教育学総論	社会福祉概論 臨床心理学概論Ⅰ,Ⅱ 生涯学習概論Ⅰ,Ⅱ 高等教育論A 生涯学習支援論Ⅰ,Ⅱ 青年文化論 社会教育経営論Ⅰ,Ⅱ	小児精神神経学 相談心理学A,B 特別支援教育A,B,C 障害者・障害児の教育と医学 福祉心理学 教育学特論E,F 高等教育論B 社会教育実践研究 社会教育実習 高齢化社会と教育 青年期と教育 ジェンダーと教育 ボランティア教育論 スポーツ・レクリエーション論 教育学特論G,H	
	Ⅲ群	教育情報・メディアに関する専門科目群	教育情報学総論 メディア・コミュニケーション総論	認知科学概論 学校経営と学校図書館 図書館情報学概論 図書館システムサービス論 図書館情報文化論 情報メディア論A 情報技術論	視聴覚教育メディア論 インターフェース論 知的表現論 教材開発論 学習指導と学校図書館 学校図書館メディア 情報メディア利用論 読書教育論 学習と教育の心理学 社会心理学A(社会・集団・家庭心理学A) 教育学特論Ⅰ,J 図書館システム経営論 情報メディア論B,C 児童サービス論 メディア組織法Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ 情報サービス論Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ 教育学特論K,L 図書館情報学実習A,B	
	Ⅳ群	幼児教育に関する専門科目群	幼児教育原理B 児童福祉論 幼児教育原理A	臨床保育学A,B 保育方法研究A,B	小児保健論 教育学特論M,N 保育内容総論A,B 保育内容教育法(健康) 保育内容教育法(人間関係) 保育内容教育法(環境) 保育内容教育法(ことば) 保育内容教育法(表現A) 保育内容教育法(表現B) 小児栄養学 教育学特論O,P	
	Ⅴ群	児童教育に関する専門科目群	初等教育原理B 算数概説A,B 音楽概説(理論) 初等国語概説 学校教育学総論 初等教育原理A	理科概説A,B 体育概説(理論) 図画工作概説(理論) 教職論(初等) 教育方法論(初等) 教育課程論(初等) 特別支援教育概論(初等) 教育・学校心理学 体育概説(運動) 音楽概説(器楽A) 音楽概説(器楽B) 音楽概説(声楽) 社会科概説 生活科概説 図画工作概説(美術) 図画工作概説(造形) 家庭科概説(被服) 家庭科概説(食物) 初等英語概説	初等教科教育法(国語科) 初等教科教育法(算数科) 初等教科教育法(理科) 初等教科教育法(社会科) 初等教科教育法(生活科) 初等教科教育法(音楽科) 初等教科教育法(図画工作科) 初等教科教育法(体育科) 初等教科教育法(家庭科) 生徒・進路指導論(初等) 初等教科教育法(英語科) 生徒・進路指導論(初等) 教育相談(初等) 特別活動・総合的な学問の時間(初等) 道徳教育指導法(初等) 教育学特論Q,R 教育学特論S,T	
	Ⅵ群	中学校・高等学校教諭免許・各種資格の取得に必要な専門科目群	英語概説A,B 中等国語概説 国文学A,B 国文学史A,B 日本史A,B 外国史(東洋史) 外国史(西洋史)	Advanced Academic Writing A,B Advanced Global Communication 英文学A,B グローバル文化論A,B,C,D 英語音声学(講義) 英語音声学(演習) 国文学特論A,B,C,D,E,F 漢文学A,B 書道A,B 人文地理学A,B 自然地理学A,B 地誌学概論A,B 地理情報分析法A,B 気象学A,B 地誌学概論A,B 法律学概説A,B 政治学概説A,B 社会学概説 経済学総論A,B 哲学史A,B 宗教学A,B	英国文学史A,B	
	Ⅶ群	キリスト教学校の教育への理解を深めるための専門科目群			キリスト教学校論 聖書の世界(旧約) 聖書の世界(新約) キリスト教の教理 キリスト教と法思想 宗教と社会 礼拝学 キリスト教メンタルヘルス	

外国語科目(外国語Ⅰ)	Comprehensive EnglishⅠA Comprehensive EnglishⅠB Oral EnglishⅠA Oral EnglishⅠB	Comprehensive EnglishⅡA Comprehensive EnglishⅡB Oral EnglishⅡA Oral EnglishⅡB Academic Writing A Academic Writing B	
青山スタンダード科目	フレッシュャーズ・セミナー ウェルカム・レクチャー キャリアデザイン・セミナー		
自由選択科目	キリスト教理解関連科目 人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目 言葉の技能 身体の技能 情報の技能 キャリアの技能		
	学科科目および青山スタンダード科目の必要単位以上の履修。 心理学科および他学部開講科目の履修(ただし、履修できない科目もあります)。		

上記のカリキュラムは、2020年度1年次入学者から適用されます。科目名称および年次配置などは変更される場合があります。

教育をめぐる多様な思想に出会い、語り合い、学びあう経験を



この演習(ゼミ)では、そもそも教育ってなんだろう?という素朴な問いを大切にしながら、それを「学問的な問い」として引き受けつつ、場を共有する人々と対話を重ねて考え続けていきます。とはいえ、教育とは何かという問いは大海のごとき広がりをもつ問いですから、まず私たちがどこで問うているのか、そこからどこに問いは繋がっていくのかを知るための、羅針盤があったらいいと思います。その羅針盤を、本演習では様々なテキストに求めます。それぞれの時代、文化、社会の中で、教育をめぐる思想はいろいろな人たちによって様々に展開されてきました。そうした人々は、どのような状況の中で、何を問い、何に躓きながら、いかなるものとして教育を捉え、語ろうとしたのでしょうか。まず前期は、教育哲学・教育思想史に関連する書物を受講者全員で検討しながら選定し、それを講読(発表し、話し合い)します。テキストを読み、各人が考えた事柄や解釈について共有し、率直に語り合うそのプロセスのなかで、受講生は自らの教育観を相対化しつつ、教育哲学や教育思想に関連する諸概念や知識についても学びを深めていきます。後期は、各人のなかで醸成された研究テーマについて個人発表し、全員で議論を重ねながら卒業研究に向けた具体的な問いへの絞り込みと、テーマに即したアプローチの仕方を探究していきます。

北詰 裕子 Yuko Kitazume

【専門分野】教育哲学・教育思想史

Student's VOICE

「日常の出来事や社会に対して普段抱くことがない「なぜ?」という観点から多くの価値観に触れられます」「自由に哲学的諸問題について意見を言うゼミです」「同じテーマについてみんなで話すことで様々な方向から意見を知ることができ、自分の世界が広がります!」「ひとりひとりが考え、自分の意見を述べ合い、新しい視点を見つけるととても楽しい授業です」

インターフェース論

人は他者、文化、社会、道具と関わりながら生活をしています。インタフェースとはこれらのものが関わり合う場をさす言葉です。インタフェースにおいては、メディアを介してさまざまなレベルでコミュニケーションが起きています。講義では、言語、コンピュータ、映像などの様々なメディアの特性を学ぶとともに、インタフェースを改善し、よりよいコミュニケーションを成立させる条件を考えます。

教材開発論

今まで皆さんは、どのような教材を使って学習してきたでしょうか。どんな教材が心に残っているでしょうか。この授業では、皆さん自身で教材を開発してもらいます。まず、道徳教育や国語教育における文献をグループで輪読します。その後、皆さんで新たな教材を作成し、その教材を作って授業をしてもらいます。自分で考案した教材で授業をすることの楽しさ、そうした授業を受けることの楽しさを体験してもらいたいと思います。



授業紹介 [情報メディア利用論]

学習指導における情報メディアの効果的な活用法を探る

学校教育において、様々なメディアを有効に活用することは、教育・学習を進める上でますます重要になっています。黒板と教科書とノートしか使わない授業はむしろ少ないのではないのでしょうか。この科目では、初等・中等教育（小・中学校や高校など）においてさまざまなメディアを活用した学習指導ができるように、必要な知識を理解し、技能を習得することを目的としています。なお、ここでいうメディアとは、いわゆる電子メディアのみでなく、紙（ペーパー）に代表されるアナログのものを含みます。

具体的には、各教科・科目の授業で使う配付型の教材（いわゆるプリントなど）と提示型の教材（パワーポイントなど）を実際につくりながら学んでいきます。教材を使う授業のデザインについても、人間の情報行動（学習行動）なども踏まえながら考えていきます。また、必要な情報探索収集の方法やメディアの特性などについても扱います。

この科目は、司書教諭資格の要件科目にもなっています。メディアセンターとしての学校図書館を基盤としながら、メディアスペシャリストとしての司書教諭に必要な知識・技能も学べるように工夫しています。

野末 俊比古 Toshihiko Nozue

【専門分野】教育情報学、図書館情報学



Student's VOICE

この授業は、和気あいあいとしていてアットホームな雰囲気のため、自由に意見を述べるすることができます。教員を目指す人はもちろん、企業などに就職する人でも役立つような「伝えたいことを伝える」ための情報メディアの活用方法を学んでいきます。授業の後半では、前半で学んだ内容を活かして自分で授業の構成を考え、授業の目的や教師の意図に沿った教材づくりに取り組みます。どうしたら目的や意図に沿った授業の構成や教材にできるのか、受講者がつくった構成案と教材をもとにみんなで意見を出し合いながら考えていきます。

西洋教育史 I

もし著名な教育者の名前やその業績を憶えることにすぎないのであれば、教育学を学ぶみなさんにとって、教育史は無害な科目です。しかし教育を切り口として人間と社会の関係のありようやその歴史的变化を理解しようとするとき、教育史はみなさんの先入観を根底から覆す、きわめて危険な教育学になり得ます。勇気をもって、教育史の危険な世界にチャレンジしてみてください。

青年文化論

「今の若者は…」とよく言われますが、こうした批判は新たな価値を生み出す若者への憧れも込めて、繰り返されてきました。授業では、映像、小説、記事、調査などから、これまでの大学生が何を考え、何を求めてきたかを読み解きます。勉強、遊び、就職など身近な話題を取り上げ、学生同士の意見交換も交えて、今の自分を見つめ直してもらうとともに、社会との関わりや青年期の教育のあり方についても考えてもらいます。



稲垣 中 Ataru Inagaki

【専門分野】 薬剤疫学、臨床精神医学、臨床精神薬理学

本来、疫学とは病気を含めたさまざまな健康問題にどのような要因が影響を与えているかを調査して、対策を立てるための学問なのですが、その考え方は医療のみならず、教育学や社会学を含めたさまざまな分野で応用することができます。社会に出た後に役立つ素養の1つとして、「疫学的な考え方」を学んでみませんか？

井上 直子 Naoko Inoue

【専門分野】 スポーツ科学、スポーツ生理学、スポーツバイオメカニクス

近年「スポーツの価値」について様々な議論がなされています。人間が生物として存在している限り、身体を動かすことは、必要不可欠です。しかし、「スポーツの価値」はそれだけではありません。「豊かな人生を生きるため」のスポーツのあり方、スポーツとの関わり方、またそれを「体育」の中でどのように教育していくのかを考えます。

岩下 誠 Akira Iwashita

【専門分野】 西洋教育史、イギリス教育史、アイランド教育史

「西洋」における「過去」の教育のあり様を研究する西洋教育史は、教育学のなかでも「今・ここ」の問題から最も距離を取ることができる技法のひとつです。教育に関してベタベタした思い入れはないが、しかし何か気になる（気に障る、でも大丈夫です）、という少し偏屈な人に向いている学問分野かもしれません。

榎本 明彦 Akihiko Enomoto

【専門分野】 算数教育

算数が苦手な子が「わかった」「できた」と言ってくれる授業、算数が得意だと言う子が「あれ、変だなあ」と迷い「もっと考えてみよう」と追究する授業。自身が算数・数学に苦労した経験がなくても、そのような授業は容易には作れません。教材分析のしかた、授業に必要な指導技術などについて考えていきましょう。

大森 秀子 Hideko Omori

【専門分野】 アメリカ教育史、キリスト教教育史

多様な人種・民族・言語・宗教から成るアメリカの歴史の中に、教育によるアメリカ化の幾つかの諸相があります。移民を多く受け入れてきたアメリカの「包摂」と「排除」の歴史事象を学ぶことは、アメリカの価値観への探求と共に、国民意識の形成や多文化社会の理想と現実にあプローチする視点を育てることになるでしょう。

小木曾 一之 Kazuyuki Ogiso

【専門分野】 応用生理、運動制御、体育科教育

人間は機械ではありません。全てのことを正確にはできません。でも柔軟に対応し、解決することはできます。スポーツや体育授業も同じです。身体の仕組みを理解しながら、「どうすれば上手くできるのか」を楽しみながら追求します。それは我々が将来にわたって心身ともに健康で生き生きと暮らしていくためのヒントです。

北詰 裕子 Yuko Kitazume

【専門分野】 教育哲学、教育思想史

教育哲学は、〈教育〉という言葉で表現されているのは一体何かを深く追求する学問です。教育思想史は、そうした〈教育〉という言葉で表現されることが、どのような文脈において成立しうるのかを明らかにする学問です。さまざまなテキストに導かれながら、一緒に〈教育〉とは何かについて、考えてみませんか。

小針 誠 Makoto Kobari

【専門分野】 教育社会学、教育社会史

「なぜ」学力は家庭環境によって格差が生じるのだろうか？「なぜ」学校でアクティブラーニングが導入されようとしているのだろうか？そもそも「なぜ」学校に行き勉強するのだろうか？教育社会学は教育に関わる素朴な「なぜ」を社会学の視点と方法から解明し、教育や社会の未来予想図をデザインすることにあります。

久保寺 節子 Setsuko Kubotera

【専門分野】 幼児教育学

「保育の見える化」が話題になっています。私たち大人が、子どもの姿をおもしろがって見ること、丁寧に子どもの声を聴くことで、たくさんの発見があります。そのような子どもの姿が見えるようになっていくことが「保育の見える化」につながります。一緒に子どもの世界を感じ、味わっていきましょう。

米田 英嗣 Hidetsugu Komeda

【専門分野】 教育心理学、教育神経科学、物語理解

教育心理学は、人間がどのように理解し、学習していくのかを解明する学問です。物語を理解することは、物語で起こったことを仮想的に体験することであると考えられます。物語理解を通じて様々な経験を積むことができれば、現実存在している人の気持ちをよく理解できるようになり、共感性や社会性を高めることができるかもしれません。

杉谷 祐美子 Yumiko Sugitani

【専門分野】 高等教育研究、教育社会学、大学生・大学教育に関する調査研究

大学を中心とした高等教育(高校卒業後の教育)の研究は新しい分野で、専門的に学べる大学はわずかです。社会と密接に関わり、政策の動きも早く、そのようななか、大学生の意識や行動の傾向、その要因、大学の仕組みなどを明らかにし、大学教育や大学入試がどうあるべきか考えます。特に大学生には、最も身近な問題に感じられるでしょう。

杉本 卓 Taku Sugimoto

【専門分野】 情報教育、情報社会論

情報メディアは、教育の中でも、社会においても、大切な役割を果たしています。よりよい教育のあり方を考える上で、「情報」「メディア」という切り口はますます重要になっています。また、社会生活の中での情報メディアの働きを考えることで、他者との関わりや私たちの考え方・生き方について理解を深めることができます。

鈴木 宏昭 Hiroaki Suzuki

【専門分野】 認知科学

人は様々な場面で理解、学習を行っています。またそれにはレベルの違いがあったりもします。単なる詰め込みによる理解や学習もあれば、その意味・意義がわかる深いレベルの理解や学習もあると思います。認知科学は、これらがいかに行われるのか、その仕組みを、実験、観察、モデル化、を通して、解明しようとする学問です。

高櫻 綾子 Ayako Takazakura

【専門分野】 幼児教育学、保育学

乳幼児期の教育・保育には生涯にわたる幸せを掴むヒントがあります。幼児教育学・保育学は人生の中でも教育効果が高い乳幼児期の子どもの育ちについて理論と実践の両面から多角的に追究します。子どもについて学ぶことを通して自らの育ちを振り返り、将来の自分や社会を思い描いてみませんか？

高橋 邦伯 Kuninori Takahashi

【専門分野】 国語教育(その方法と教材・学習教材研究、国語科教師の基礎基本)

言葉は社会生活の上で欠くことのできないものです。自己の考えの形成する力とコミュニケーションの力を育てることが国語科教員の使命であることの自覚を目指したいのです

月岡 正明 Masaaki Tsukioka

【専門分野】 社会科教育、学校経営

自分たちの生きている社会が、様々な人たちの思いや願い、働きなどによって支えられていることを問題解決的に学び、よりよい社会の実現のために自分たちは何をすべきか考える教科が社会科です。知識の習得だけでなく、情報を収集し取捨選択する技能、多角的に考え判断し、表現する力も重要です。社会科の醍醐味をともに学んでいきましょう。

庭井 史絵 Fumie Niwai

【専門分野】 図書館情報学(学校図書館)

すべての小学校・中学校・高等学校に「図書室」があり、子どもたちにとって最も身近な図書館です。学校図書館が、心地よい読書の場として、探究を深める場として、また、情報リテラシーを育む場として、学校教育に不可欠な存在になるように、人・メディア・場の研究がすすめられています。

野末 俊比古 Toshihiko Nozue

【専門分野】 教育情報学、図書館情報学、学習資源論

教育・学習の方法、資源(教材)、環境などについて、主に情報やメディアなどの観点から考えます。いわゆるICTのイメージがあるかもしれませんが、例えば、本を読んで考える行為は、活字メディアを使って情報入手・分析しているのとらえられます。「学び」を俯瞰的にみることで、よりよい教育・学習のヒントを得ることができます。

長谷川 祥子 Sachiko Hasegawa

【専門分野】 国語科教育学

国語科教育学では、小学校・中学校・高等学校の国語科の授業づくりを中心にして、言葉の力を育てる方法を考えています。物語や小説、説明的な文章を読む学習や、自分の考えを書く学習、分かりやすく話す学習などについて、その背景や理論、実際の授業のあり方を探っていきます。

早坂 方志 Masashi Hayasaka

【専門分野】 特別支援教育

障害などにより、通常の教育に加えて特別な対応が必要な子どもたちの教育は、特別支援教育とよばれています。また、障害のある子どもとない子どもが共に学ぶ仕組みであるインクルーシブ教育が進展しています。近年、これらについて知ることは、教育に携わる専門職に必要な素養となっています。大学の授業では、障害のある子どもの教育やインクルージョンについて、それらの理念・歴史、制度、教育内容・方法など、多様な視点から学び、望ましい教育の在り方について、筋道立てて考えることができるようになります。

樋田 大二郎 Daijiro Hida

【専門分野】教育方法(学)

とにかく面白いのです。人類の誕生からゆとりやアクティブ・ラーニングに至る歴史の中で、社会進歩や人間理解の深化で教育方法がものすごく変わります。しかも知識は教科書ではなくて子どもと社会の中にあり、教師の人数分だけ適切な教育方法があるとされます。教育方法は社会や人間、そして自分自身を考える学問です。

平賀 伸夫 Nobuo Hiraga

【専門分野】理科教育、授業研究

理科は自然の不思議さ、理解することの楽しさを子どもに伝える教科です。理科教育は、伝え方の習得、向上をめざします。そのために、理科の知識・技能、子どもの実態、教育理論を学びます。授業を立案し、実践し、分析する力も身につけます。受ける側からみてきた理科授業を、行う側からみるわけです。新たな視界を楽しみましょう。

福元 真由美 Mayumi Fukumoto

【専門分野】幼児教育学、保育学、保育の歴史・カリキュラム、保育者の専門性

日本の教育の歴史をふり返ってみると、現代ほど保育と子育てが注目され、議論されている時代はありません。乳幼児期の子どもの育ちと学びについて多様な角度から問いを立て、検討する学問を保育学といいます。保育学を学ぶことを通して、私たちはどのように社会に参加していけばいいのか共に考えていきましょう。

古荘 純一 Junichi Furusho

【専門分野】小児科学、小児精神医学

コンサルテーション、リエゾンという概念があります。ひとりひとりの子どものニーズに応えるために、「相談」し「連携」できる体制を整えておくことです。科学的な検証や事例検討を行いながら、ひとりで問題を抱えこまず、かつ簡単に他人に委ねない姿勢を身に付けていきましょう。

柳田 雅明 Masaaki Yanagida

【専門分野】生涯学習論、比較教育学、カリキュラム研究、職能形成学、社会教育学

人が学んでいる場合は、学校だけではなくありません。学びは社会とつながっています。そして学校以外でも学びがあります。そのように学校と社会とがつながりさらに学校も飛び越えて、大人の学び手も含め教養育み学ぶことを、以上で示した専門分野は探求します。そこでは、広い視野から学んで問うことすなわち学問ができます。

山本 珠美 Tamami Yamamoto

【専門分野】生涯学習論、社会教育学

若いみなさんにとっては、学びの場として学校はとても大きな存在でしょう。しかし、「人生100年時代」と言われる昨今、生涯というスパンで見ると、学校で学ぶ時間は限られています。人は生まれてから死ぬまで学び続ける生き物です。生涯続く学びを支援するにはどのようなシステムが望ましいか、一緒に考えましょう。

山本 美紀 Miki Yamamoto

【専門分野】音楽学、音楽教育学、キリスト教と音楽文化、教会音楽

音楽は言葉と同様に、コミュニケーションのツールです。人間は、胎内での母親の心音に始まって、様々な音を通して世界と関わり、理解してきました。幼児・児童期の音や音楽に関わる経験は、生涯に渡る自他との音楽を通じた主体的関わりの基盤となります。豊かなコミュニケーション構築と支援をめざし、創造的に学んでいきましょう。

横山 徹 Toru Yokoyama

【専門分野】美術教育、芸術、彫刻、初等教育

幼児や小学生を観察していると素材を媒介に、五感を駆使しながら自分であることを確認しています。ところが大人になるとこれらの経験をもとに視覚だけで分かったように錯覚してしまうのはなぜでしょうか。美術教育の面白さは私たちが育ってきた原点に立ち返り、あのワクワク感を教育の場で再構成するところにあると考えています。

大木 由以 Yui Oki

【専門分野】社会教育学、博物館学、生涯学習論

学校以外の場面で展開される社会教育は、私たちの生活と密接にかかわっています。社会教育を考えることは、自分たちの地域や生活を見直すことにつながります。地域が抱える、広く社会で共有される問題などに取り組むための学習や、その学習を支援する人、そうした学習を継続させる仕組みに目を向けてみませんか。

薦田 梓 Azusa Komoda

【専門分野】美術教育、日本画、文化財保存学

美術教育の目的は、上手な作品を作ることではありません。何をどのように作るのかを自分で考え、材料や道具を工夫し制作していく、その過程が重要なのです。造形活動によって培われた創造力や思考力は、生きる上での様々な問題を解決する力に繋がってきます。子供達の目がキラキラと輝くような授業作りを共に学んでいきましょう。

在学生の声

教育学科

幅広い分野からの学び

須賀 はな

[教育学科1年]



私は幼稚園教諭を目指していますが、幼児教育や実践的な分野のみにとらわれず、多角的に教育について学べることから、本学を目指しました。

1年次は青山スタンダード科目と学科の科目をおよそ半分ずつ選択します。青山スタンダード科目では、語学などの教養分野にも触れ、他学部や他学年の方々の意見を聞く機会もあり、そこで得たことは教育の深い部分と関わってくるのではないかと考えています。また、現在は社会情勢に応じて対面授業とオンライン授業を並行しています。対面で受けられないことによる難しさもありますが、普段関わることのない方とのディスカッションやリモートでの発表なども経験し、視野が広がりました。

今後は、様々な分野についても幅広く学びつつ、興味のある分野と苦手意識のある分野をそれぞれ深めたいと思います。そして教育についての引き出しを増やし、実際に教育現場に出た際に生かせるようにしたいと考えています。

「教育」を学ぶ

須原 優花

[教育学科2年]



皆さんは、「教育」と聞いて何を思い浮かべるでしょうか。

「教育」と一言で言っても、その捉え方は様々です。本学科では、教員になるための授業だけではなく、充実したカリキュラムと人間を様々な側面からとらえるというコンセプトのもと、教育そのものについて幅広い分野・観点から知見を深めることができます。

また、教員を志望している人もそうでない人も、有意義な学びを得られるのが本学科の魅力です。実際、教員志望でない学生や、教員になるか悩んでいる学生はたくさんいます。私自身、入学当初は教員になることが目標ではありませんでした。しかし、大学での学びを通して、社会性や学びの基礎を培う幼児期の子どもたちを育む幼児教育に興味の幅を広げることができました。現在は幼稚園教諭になることを目標に日々学んでいます。

皆さんも「教育」そのものを捉えることを通して、自分の可能性を広げてみませんか。

「当たり前」を疑う

久保田 兼伍

[教育学科3年]



このパンフレットをご覧になる方の多くは大学進学や教育に興味があると考えられます。では、皆さんは大学進学を「当たり前」のこととして考えていますか。また、高校は進学して当然なものでしょうか。実際、日本の大学進学率は多く見ても55%ほどです。ましてや高校進学率は100%にも届きません。先程の「当たり前」のようなものはすべての人にとっての「当たり前」ではありません。このように、自分たちの目線で「当たり前」と思われるものは、意外と当たり前でないことが多いのです。なぜ高校や大学などに進学するのか。ICTをなぜ教育の中で使うのか。教育は全員が受けることができるのか。教育とはなぜ行うのか。どうやって人間は成長するのか。そもそも、人間とはどういう存在か。これら「当たり前」で見過ごされがちな根本的な問題に対し、青山学院の土台であるキリスト教の学び、諸学問、そして日々の生活を通じて考え直す場が教育学科であり、青山学院だといえます。青山学院で、そして教育学科で「当たり前」を疑ってみませんか？これまで見えてこなかった世界が見えて、意外と面白いですよ。

夢が見つかる！

市川 美香

[教育学科4年]



私は子どもの貧困と教育格差に興味があり、子どもや教育について学ぶことができる教育学科を選びました。青学の教育学科は、教員養成のための授業だけでなく、社会教育や教育哲学など様々な授業があるので、教育について幅広く学ぶことができます。教員志望ではない私にとっても面白い授業ばかりで、青学を選んで良かったと感じています。

学生生活では、学科の友人と休み時間にランチに行ったり、放課後に一緒に課題をやったりと、とても楽しく充実した日々を送っていました。3年生からは、卒業論文のテーマである「貧困家庭の子どもの支援」についてより理解を深めるために、学習支援ボランティアを始めました。明るく元気な中学生にたくさんのパワーをもらい、将来は、子どもたちが経済的な理由で苦しむことなく前向きに生きていける世の中を作ることに貢献したいと思うようになりました。卒業後は、子どもの貧困対策や子育て支援に携わることができる地元の自治体職員として働く予定です。

皆さんもぜひ青学で将来の夢や、やりたいことを見つけてください。

心理学科

Department of Psychology



認知、発達、社会、臨床の心理学を理解し、
人間の心の問題を実践的に解決する
「心の専門家」を育成します。

科学技術の発達により、森羅万象さまざまなことが明らかになりつつあります。その一方で、昔から変わることなく人々の関心をひきつけているテーマがあります。

それは心です。心理学ではこの人間の内にある小さな宇宙を研究対象とし、世の中に役立つ具体的な知恵、実践的な技術を生み出すことをめざしています。心に未知なる部分が多いのは事実ですが、「認知」「発達」「社会」「臨床」という4つの分野を重視して学んでいきます。

実社会で役立つ具体的・実践的な学び

本学科では、心理学を抽象的な学問としてとらえず、世の中の役に立つ具体的な知恵や実践的技術を修得することに重点を置いています。カリキュラムでは、感覚・知覚などの基礎領域から社会・臨床などの応用領域までを学び、心理に関する諸現象を科学的、人間的、総合的に研究します。これにより、家庭や教育・医療の現場のほか一般企業など幅広い場面で活かせる高い専門力を養います。

広く深く学べる4つの専門領域

心理学科では、「心理学基礎」によって基本的な知識と態度を修得した上で、「認知」「発達」「社会」「臨床」の4領域でより深く専門的に学んでいきます。2018年度から始まった新カリキュラムでは、多様な進路に向けて自由度の高い授業選択をする「一般心理コース」と、公認心理師や臨床心理士を目指す人のための「臨床心理コース」*の2コース制を3年次から導入します。さらに、「哲学・認識論」関連科目により思考力を鍛えます。

4年間の学びの流れ

1年次	2年次	3年次	4年次
心理学の基礎理論や研究の手順などを学びます。 心理学研究に欠かせない情報処理技能を身につけます。 【科目例】 心理学概論、認知心理学概論、発達心理学概論、社会心理学概論、臨床心理学概論Ⅰ・Ⅱ、心理学基礎演習、心理統計基礎など	研究法を中心に、専門領域への視野を広げていきます。 臨床心理学的なアプローチを実践的に学びます。 【科目例】 心をめぐる諸問題、心理学実験、心理学研究法、心理学統計法Ⅰ・Ⅱ、認知心理学A・B、発達心理学Ⅰ・Ⅱ、社会心理学A・B、心理学的支援法A・B、心理的アセスメントA・B、感情・人格心理学、心理学応用演習など	一般心理コース 臨床心理コース コースに分かれ、各自の将来像に向かって専門的な学びを深めます。 【科目例】 認知心理学特講A・B、発達心理学特講A・B、社会心理学特講A・B、臨床心理学特講A・B、臨床発達特講A・B・C、心理学特別講義A～G、産業・組織心理学、司法・犯罪心理学、心理演習A～I、特別研究演習など	一般心理コース 臨床心理コース 4年間の集大成として「卒業論文（選択必修）」に取り組みます。 【科目例】 卒業論文、心理実習など

※臨床心理コースは人数制限をする可能性があります。選考について詳しくは入学後のオリエンテーションで説明します。

カリキュラム

カリキュラムの特色

1年次には、心理学の基礎的な理論、分野、研究法、成果等を学びます。同時に、心理学研究に必要な情報機器を使用するための基礎的スキルも習得します。2年次からは、心理学統計法Ⅰ・Ⅱ、心理学実験、心理学研究法、心理学実験プログラミングといった本格的な研究トレーニングがスタートします。その一方で、認知、発達、社会、臨床の4つを重視した専門分野について学びを深めます。各分野とも多くの学科科目を配置していますので、3年次以降、各自の興味や志望進路に従って広く深く学ぶことができます。また、教育学科と提携することで一層のカリキュラム充実を図るほか、現代社会の要請を反映した科目が豊富なことも特色です。



4つの分野 + a

認知心理学分野

知覚、学習、思考、記憶、言語、知識、問題解決、創造性など、人間の認知機能について、その特性とメカニズムを探ります。

【履修科目例】

認知心理学概論、認知心理学A・B、認知科学概論、認知心理学特講A・Bなど

発達心理学分野

子どもの成長や成人期以降の発達などをテーマに、人間の経年的変化がどのように作り上げられていくのか、そのメカニズムを探ります。

【履修科目例】

発達心理学概論、発達心理学Ⅰ・Ⅱ、発達心理学特講A・B、臨床発達特講A・B・Cなど



取得可能な資格

心理学科の科目でそれぞれ必要科目を修得すれば、認定心理士や准学校心理士の資格を申請のうえ取得できます。心理学科のカリキュラムでは、公認心理師や臨床心理士の資格を取得するために必要となる基礎的な科目を学習することも可能です(公認心理師資格には臨床心理コース※のみ対応)。

心理学関係以外には、司書、社会教育主事、学芸員の資格をめざすこともできます。

指定科目の修了で 卒業時に取得可能な資格

- 認定心理士
- 准学校心理士
- 司書
- 社会教育主事
[必要単位取得]
- 学芸員

卒業後にさらに勉強すると

- 公認心理師(国家資格) [詳細はP33 (Information)]
心理専門職のための国家資格。4年制大学において省令で定める科目を履修した上で、大学院修士課程(博士前期課程)を指定科目を履修修了することで受験資格を得られます。
- 臨床心理士
(財)日本臨床心理士資格認定協会が認定する資格。大学院修士課程(博士前期課程)を修了後、心理臨床に関する従事者としての勤務を一定年数経験することによって、受験資格を得られます。臨床心理士受験資格第1種の指定を受けた大学院では実務経験を経ることなく受験資格が得られます。本大学院心理学専攻臨床心理学コースは第1種指定大学院に認定されています。

青山心理学会

学生主体で学年を越えた交流を実現

心理学会は、学部生、大学院生、専任教員、卒業生の有志による集まりです。この会では、講演会や勉強会の開催、「青山心理学研究」の発行を行っているほか、新入生オリエンテーションや卒業パーティといったさまざまなイベントを実施しています。これらは学生による自主的な運営が中心で、学年を越えたアットホームな交流を生んでいます。

学科データ

(2021年5月1日現在)

授与学位/学士(心理学)

入学定員/110名

学 生 数/男子129名、女子351名



心理学科では、臨床、発達、社会、認知の4つの分野を中心に専門性を深めます。

さらに、思考力を鍛えるための「哲学・認識論」関連科目も配置されています。

社会心理学分野

社会的影響、対人認知、対人関係、自己を基本的なテーマに、社会と個人の関係、社会が心に与える影響などについて理解を深めます。

履修科目例

社会心理学概論、社会心理学A・B、産業・組織心理学、社会心理学特講A・Bなど

臨床心理学分野

心の不適応・異常に関する心理学的アセスメント、心理療法の構造と過程などについて学びます。

履修科目例

臨床心理学概論Ⅰ・Ⅱ、心理的アセスメントA・B、心理学的支援法A・B、障害者・障害児心理学、教育・学校心理学、心理面接法A・B、臨床地域援助など

哲学・認識論

創造的な思考力を高めるため、目に見えないことを見つめ、普段とは異なる観点から物事を考察する訓練を行います。

履修科目例

哲学的認識論Ⅰ・Ⅱ、哲学文献講読演習Ⅰ・Ⅱ、心の哲学Ⅰ・Ⅱ など

教育研究上の目的

心理学科の理念・教育方針は、「心の専門家の養成機関として、心理学を抽象的な学問としてではなく、世の中に役立つ具体的な知恵や実践の技術を修得することに重点を置く、まったく新しい学びの場を提供すること」である。また、心理学科では「心」に関する豊かで多様な視点に基づく問題解決志向型の人間の養成を目指している。具体的には、感覚・知覚の基礎的領域から、社会・臨床の応用領域にいたる最新の研究成果をふまえて、心理に関わる諸現象を「科学的」「人間学的」「総合的」に研究することを通して、上記目的の実現を目指す。

3つのポリシー

ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)

- 知識・技能
 - ・人間を多様な視点から見るための広い教養を持っている。
 - ・心の多様性と普遍性を理解し、心理学の学問内容と研究方法を身につけている。
 - ・心理学の基礎・応用に関連する研究あるいは実践活動を遂行するために必要な、実験・調査・面接・テストを実施する技術を習得している。
- 思考力・判断力・表現力
 - ・心理学の研究や調査を計画・立案し、報告書にまとめる能力を身につけている。
 - ・研究成果や自分の考えを的確に発信することができる。
- 意欲・関心・態度
 - ・国内外の資料を自ら探し、批判的実証的態度をもってそこから学ぶことができる。
 - ・心理学の知識と方法論を応用して、社会、企業、組織、地域、家庭におけるさまざまな問題を発見し、解決に取り組む意欲を有している。

カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施の方針)

心理学科は、学科の人材育成目的の達成のため、以下のような専門教育科目(心理学科学科目)と、外国語科目及び青山スタンダード科目(含む 第二外国語科目)で構成される教育課程を編成する。

心理学科学科目

- 第Ⅰ群:基礎科目・哲学科目
- 第Ⅱ群:心理学領域講義科目(発達心理学・認知心理学・社会心理学領域(ほか)※)
- 第Ⅲ群:心理学領域講義科目(発達心理学・認知心理学・社会心理学領域(ほか))
- 第Ⅳ群:臨床心理学領域講義科目※
- 第Ⅴ群:臨床心理学領域講義科目
- 第Ⅵ群:臨床心理学領域実習・演習科目
- 第Ⅶ群:演習科目
- 第Ⅷ群:特別研究及び卒業論文

※ 第Ⅱ群・第Ⅳ群は、心理学領域講義科目・臨床心理学領域講義科目のうち、国家資格(公認心理師)受験に必要な科目である。

● 基礎科目(Ⅰ群)は学生の学習状況に合わせた段階的な科目配置を行う。必修科目として、1年次には「心理学概論」と「心理学基礎演習」「心理統計基礎」を通して心理学の基本的な知識と批判的実証的態度を身につける。2年次には「心をめぐる諸問題」を通して心についての多様な視点を身につけ、思考力を養うとともに、「心理学実験」と「心理学研究法」で心理学の基本的な研究方法および倫理を、「心理学統計Ⅰ」「心理学統計Ⅱ」で基本的な統計処理技術を習得する。それと合わせて、2年次・3年次には、各自の興味のある研究領域に応じて、コンピュータプログラミングや高度な統計技法、専門的な研究手法を身につける科目や、心について哲学的な考察を深めるための科目も選択必修として用意する。

● Ⅰ群に含まれる哲学の講義科目も含め、多彩な講義科目(Ⅱ群・Ⅲ群・Ⅳ群・Ⅴ群)と演習科目(Ⅵ群・Ⅶ群)は、基礎科目での学習の進行状況を配慮した学年配置を行う。特に認知心理学・発達心理学・社会心理学・臨床心理学の4領域については、1年次配置の各概論から始まり、2年次配置の専門的な内容の科目、3年次配置の特別講義へと、順を追って学習を進められる配置を行っている。学生は、これらの中から各自の興味を中心に据えた科目選択を行うことによって、専門の知識や技能を向上させるとともに、個別の問題解決への意欲・態度を養う。また、2・3年次には、演習科目(Ⅶ群)の中から必修科目として「心理学応用演習」を履修することによって、先行研究を読み解く能力とともに、思考力・判断力・表現力を培う。さらに外国語の文献や哲学の文献を読み解く力を養いたい学生に対しては、そのための演習も用意する。

● なお、3年次以降は、各自の希望進路にあわせて、多彩な進路に向けて自由度の高い授業選択ができる「一般心理コース」と、将来、「公認心理師」や「臨床心理士」を目指す人のための「臨床心理コース」のいずれかを選択して履修を進めることになる。「臨床心理コース」に進んだ学生に対しては、「公認心理師」受験に必要な講義科目(Ⅱ群・Ⅳ群)と演習科目(Ⅵ群の「心理演習」)の大半を必修科目とするとともに、心理学的支援を行う上での技能・態度・意欲を養うための実習科目(Ⅵ群の「心理実習」)を選択必修として用意する。

● Ⅶ群の「特別研究演習Ⅰ・Ⅱ」(3年次必修科目)では、心理学の実証研究(実験・調査・観察・面接など)を企画・実行し、研究論文を作成する。4年次の「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」(選択必修)ではさらに進んだ研究を行い、卒業論文の作成と発表を行う。また、「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」では、所定の哲学の講義・演習を履修した者に限り、卒業論文を哲学領域で執筆することも可能とする。これら各自の研究の遂行と研究論文および卒業論文の執筆等を通して、意欲・態度とともに思考力や判断力、表現力、実行力、発信力を高める。

アドミッションポリシー (入学受入れの方針)

- 知識・技能
国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語などについて高等学校卒業相当の知識を有している。
- 思考力・判断力・表現力
物事を論理的に考察し、自分の考えを的確に表現できる。
- 意欲・関心・態度
人の心や社会問題に関する学問や実践に強い関心を持ち、専門的に探究する志を有している。
多様化する現代社会に役立つ具体的な知恵と実践力を身につける意欲を有している。

学科科目

DEPARTMENT OF PSYCHOLOGY

卒業要件単位数 [一般心理コース]

学科科目	58単位 [必修22単位・選択必修36単位]
外国語科目・外国語Ⅰ	10単位
青山スタンダード科目	24単位
自由選択科目	36単位
合 計	128単位

卒業要件単位数 [臨床心理コース]

学科科目	79単位 [必修63単位・選択必修16単位]
外国語科目・外国語Ⅰ	10単位
青山スタンダード科目	24単位
自由選択科目	15単位
合 計	128単位

		1年次	2年次	3年次	4年次
学 校 科 目	I 群 基礎科目・ 哲学科目	- 心理学概論 - 心理学基礎演習 - 心理統計基礎	- 心理学研究法 - 心理学実験 - 心理学統計法Ⅰ - 心理学統計法Ⅱ - 心をめぐる諸問題	心理学統計法Ⅲ	
	II 群 心理学領域講義科目 (発達心理学・認知心理学・ 社会心理学領域 ほか)*		- 認知心理学A(知覚・認知心理学) - 認知心理学B(学習・言語心理学) - 感情・人格心理学 - 神経・生理心理学 - 社会心理学A(社会・集団・家族心理学A) - 家族心理学(社会・集団・家族心理学B) - 発達心理学Ⅰ - 発達心理学Ⅱ - 障害者・障害児心理学	心の哲学Ⅰ 心の哲学Ⅱ	
	III 群 心理学領域講義科目 (発達心理学・認知心理学・ 社会心理学領域 ほか)	認知心理学概論 発達心理学概論	社会心理学概論		
			社会心理学B(応用社会心理学) 学習と教育の心理学		
			認知科学概論	認知心理学特講A 認知心理学特講B 発達心理学特講A 発達心理学特講B 社会心理学特講A	社会心理学特講B 障害者・障害児の教育と医学 コミュニティ心理学 心理学特別講義A 心理学特別講義B
	IV 群 臨床心理学領域講義科目*	- 臨床心理学概論Ⅰ - 臨床心理学概論Ⅱ	心理的アセスメントA 心理的アセスメントB 心理学的支援法A 健康・医療心理学 教育・学校心理学 精神疾患とその治療 心理学的支援法B 福祉心理学 人体の構造と機能及び疾病 公認心理師の職責		心理学特別講義C 心理学特別講義D 心理学特別講義E 心理学特別講義F 心理学特別講義G
	V 群 臨床心理学領域講義科目		グループ・アプローチ 臨床地域援助	臨床心理学特講A 臨床心理学特講B 芸術療法 芸術療法演習	心理面接法A 心理面接法B 相談心理学A 相談心理学B 臨床発達特講A 臨床発達特講B 臨床発達特講C 精神保健福祉
	VI 群 臨床心理学領域実習・ 演習科目		心理実習事前指導	心理演習A 心理演習E 心理演習I 心理演習B 心理演習F 心理実習 心理演習C 心理演習G 心理演習D 心理演習H	
	VII 群 演習科目		心理学応用演習	心理学原書講読A 心理学原書講読B 心理学原書講読C	
	VIII 群 特別研究及び卒業研究		哲学文献講読演習Ⅰ 哲学文献講読演習Ⅱ	- 特別研究演習Ⅰ - 特別研究演習Ⅱ	卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ
外国語科目(外国語Ⅰ)		Comprehensive EnglishⅠA Comprehensive EnglishⅠB Oral EnglishⅠA Oral EnglishⅠB	Comprehensive EnglishⅡA Comprehensive EnglishⅡB Oral EnglishⅡA Oral EnglishⅡB Academic Writing A Academic Writing B		
青山スタンダード科目		フレッシュャーズ・セミナー ウェルカム・レクチャー キャリアデザイン・セミナー			
自由選択科目		キリスト教理解関連科目 人間理解関連科目 社会理解関連科目 自然理解関連科目 歴史理解関連科目 言葉の技能 身体の技能 情報の技能 キャリアの技能			
		学科科目および青山スタンダード科目の必要単位以上の履修。 教育学科および他学部開講科目を選択して学べます。			

科目名称および年次配置などは変更される場合があります。

■印は一般心理・臨床心理両コースとも必修科目、■印は臨床心理コース必修科目

*第Ⅱ群・第Ⅳ群は、心理学領域講義科目・臨床心理学領域講義科目のうち、国家資格「公認心理師」受験に必要な科目です。

人がつながる心理支援

私たちは、日々の生活の中で様々な問題を抱えながら生活しています。家庭や社会環境からのストレスや心身の病気、災害、事故など、心理支援の必要性は多岐にわたっています。こうした問題を解決するために、多くの心理療法や地域支援活動が重要となっています。これらの支援活動にあたっての知識や技能を習得するために、講義やグループワーク、ディスカッションを通じて皆で考えを出し合いながら、授業を進めていきます。その中で、臨床心理学の歴史や意義とともに、アセスメントや支援の実践的な方法を学習し、良好な人間関係を築くためのコミュニケーションについての実践力も身に付けていきます。さらに、家族、社会、文化という視点も含めて、心の健康教育や危機支援についても触れていきます。受講生の皆さんが、自らを振り返りつつ、他者を思いやり、豊かな社会生活を送るための指針となるきっかけとなったら嬉しいです。お互い助け合い、学び合いの心を培っていきましょう。

小俣 和義 Kazuyoshi Omata

【専門分野】臨床心理学、心理的アセスメント、
心理学的支援法、家族心理学、災害心理支援

Student's VOICE

この授業では、さまざまな臨床現場で実践活動をしている先生から、VTRや事例を通して、こころのケアに必要なアプローチや工夫について深く知ることができます。また、実際に実習やディスカッションなどを通じた体験学習をすることで、知識だけでなく自己理解も得られます。個別の心理療法に加えて、災害時に求められる心理支援について考えることで、支援者の姿勢の大切さを学べます。自分自身のこれまでを振り返りながら、他者とのかわり方を知ることで、これからの人間関係にも役立てることができると思います。



認知心理学A・B

人間の知的活動(知覚、記憶、言語、思考、感性など)について、基礎的な知見と最新の研究動向を紹介します。また、これらの研究と日常生活との関わりについても考えます。

社会心理学特講B

広告の仕組みと、受け手の心理的プロセスについて紹介します。取り上げる内容は、広告コミュニケーションの効果プロセス、送り手としての広告主や広告媒体の情報源効果、受け手としての消費者の情報処理などです。

発達心理学Ⅰ・Ⅱ

発達とは、何かができるようになること(成長)だけではなく、足踏み(停滞)したり、できなくなったりする(衰退)ことを含む、多面的なプロセスです。発達心理学では、生涯にわたって人がどのような心の変化を経験するのか、そのプロセスやメカニズムを学んでいきます。

授業紹介 [心理学特別講義A]



安全・安心社会をめざす心理学

試しにインターネットで省庁や市町村のホームページを閲覧すると「国民の食の安全・安心」や「地域住民が安心して住める街作り」などのフレーズをすぐに見つけることができます。企業のコマーシャルにも「安心感のある家」、「〇〇航空会社の安全の取り組み」などが目に留まります。さらに国家間の「安全保障条約」、社会を支える「労働安全衛生法」など、種々の「安全」によって私たちの暮らしが守られ、そして「安心」がもたらされています。

私たちが生きてゆく上でまず必要なことは、物理的、生理的な諸条件が揃うことでしょう。さらにここでいう「安全」が確保されることです。しかしながら、人には心がありますから、安全を確認した上での「安心」、「心の安らぎ」を求めないわけにはいきません。

言うまでもないことですが、心理学の中心的な興味は、「安全」よりも「安心」です。安全という外界の現実をどのように安心と認知するのか、を考えます。

どんなに安全であると言っても、安心しない人がいます。言えば言うほど不安になる人もいます。また、完全な安心は実現できるのか、また、その安心は本当に人にとって良い状態と言えるのか。さらに安心と引き換えて実は大きな危険を抱え込むことがないのか。「安心・安全」を求める現代にあって、いっしょに考えてゆきたいと思います。

北村 文昭 Fumiaki Kitamura

【専門分野】臨床心理学、ブリーフセラピー、実験心理学

Student's VOICE

「日本人は水と安全はただだと思っている」という言葉をどこかで聞きました。大都会で生活をして目の前の課題に追われているといつの間にか安心を意識することすらないことがあります。「食」、「病院」、「学校」、「交通」、「防災」など個々のテーマを通して、安心の心を支えるものと安心の生活を確保する具体的な方法を知りたいと思います。

心理演習A・B

試行カウンセリングと体験グループを実施し、その相互作用のプロセスで生じる(言語的・非言語的・意識的・無意識的)コミュニケーション行動とフィードバックの連鎖を検討します。こうした作業を通して、自己理解、他者理解、人間理解を深めます。

心理演習F

投射法とは、あいまいな刺激を被検査者に与えて、それに対する反応内容からその人らしい特徴を理解していく心理検査法です。本演習では、描画法・ロールシャッハテストを中心に、施行法と解釈の基礎を学びます。

哲学文献講読演習Ⅰ・Ⅱ

ラディカルな「思考実験」を通して、例えば「私」というあり方の日常的な理解について検討を加えることによって、哲学します。



授業紹介 [初等教科教育法(英語科)]

豊かな感性を育む小学校英語教育

公立小学校において、2020年度から、3・4年生で外国語活動、5・6年生で外国語科(英語)が必修になりました。初等教科教育法(英語科)では、日本及び諸外国の英語教育の現状を踏まえて、英語を学ぶ目的と意義及び児童の第二言語習得のあり方について理解を深めます。また、児童に適した外国語教授法を概観し、年間指導計画や一時間の授業の組み立て方、児童に適した教材の構成と内容について学びます。授業は、理論と実践のバランスをとりながら、具体的な指導方法と指導技術をワークショップ形式で身に付けていきます。また、各自が作成した授業計画と学習指導案に基づき模擬授業を実施し、受講者同士で授業改善のための話し合いを行います。

小学校の英語教育では、中学校との連携を視野に入れて、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を養うことが目標とされています。本授業では、言語や文化について受講者自身が体験的に理解を深めながら、子どもたちの言葉に対する豊かな感性を涵養し、積極的にコミュニケーションを図る態度を育成する方法について考察していきます。

高木 亜希子 Akiko Takagi

【専門分野】英語教育学、応用言語学



Student's VOICE

授業を通して、小学校の英語教育における背景や実態、実践的な内容を学ぶことができました。児童向けのアクティビティや具体的な教え方を知ることができました。教師になった際に取り入れたいものばかりです。また、実際に模擬授業を行ったことは貴重な経験となりました。教師と児童の両方の視点を養うことができ、多くの発見がありました。授業の雰囲気も明るいので、英語が苦手な人でも楽しく学ぶことができると思います。

英国文学史 A・B

読んでいない作品のほうが圧倒的に多いのに、文学史など学んで何になるのかと言う人がいます。しかし、ビエール・バイヤール『読んでいない本について堂々と語る方法』に書かれている通り、長すぎる、むずかしすぎる等さまざまな理由で読めないからこそ、文学史の流れのなかでその作品の位置を把握すれば、それは読んだことにも等しいとも言えるわけです。なぜなら、文学史は時代とともに変化する政治社会史、精神史、思想史、女性史・・・をすべて含んでいるからです。

Academic Writing A・B

本来の「英作文」は日本語を英語に訳すtranslationではなく、オリジナルなアイデアを持って作文するcompositionのことを言います。さまざまなパターンのパラグラフ・ライティングを創作することによって、英語と日本語の発想の違い、思考整理の仕方の違いを感じ取れるようになればしめたものです。和英辞典を使って日本語を機械的に英語になおしても決して相手に理解してはもらえないということを、毎回の練習を通して学びましょう。

教員からのメッセージ

心理学科所属

入不二 基義 Motoyoshi Irifuji

【専門分野】 哲学、自我論、相対主義論、時間論、運命論など

哲学では、「ある」と認識することと「ある」としての存在の関係を考えたり、「現実」にあることと「可能性として」あることとの関係について考えたりします。ふだんは使わない頭脳の「深層筋」を鍛えることになって、当たり前の裏側にまで回り込んで考える練習をするので、頭が強くなります。

上田 琢哉 Takuya Ueda

【専門分野】 臨床心理学、心理療法、教育相談

臨床心理学は、人と人が関わる時にどのようなことが起こるかということを研究している学問です。ただし、「私」や「あなた」という個別を大事にするので、一般化が難しいところがあります。それでも、臨床心理学的な世界のとらえ方は、ときに私たちが「生きる」ということを助けてくれる力をもつものです。是非一緒に学問をしましょう。

遠藤 健治 Kenji Endo

【専門分野】 社会心理学、ノンバーバルコミュニケーション

コミュニケーションというと「言葉」が中心と思いがちです。ところが、私たちの生活の中では、言葉によらないコミュニケーションが頻繁に起きています。たとえば、表情や仕草、服装や化粧、スマホの種類などからも、他の人はあなたの「中身」を勝手に読み取っているのです。本当に目は口ほどにモノを言うのか、探ってみましょう。

沖潮 満里子 Mariko Okishio

【専門分野】 臨床心理学、ナラティブ心理学、質的研究法

心理臨床の場では、よく自己の経験や感情が語られます。その語りを援助者と共に見つめ直し、対話を重ねることが、生きづらさや悩みを解消する手立てになっていきます。普段何気なくしている、語るという行為にもさまざまな意味が含まれています。そうした語りあるいは対話について、検討していきましょう。

小俣 和義 Kazuyoshi Omata

【専門分野】 臨床心理学、心理的アセスメント、心理学的支援法、家族心理学、災害心理支援

臨床心理学では、こころの問題を抱えている人、悩んでいる人に寄り添い、援助をしていくための専門技法を学びます。心理面接や心理検査を通して、目の前の人をより良い方向に導いていきます。また、被災された方たちの支援活動にも携わります。授業を通して、視野をひろげ、仲間とのつながりの大切さを感じていきましょう。

北村 文昭 Fumiaki Kitamura

【専門分野】 臨床心理学、ブリーフセラピー、実験心理学

臨床心理学は、主に言葉を使います。言葉によって、カウンセラーは来談した人の苦勞、努力、人間関係、過去の出来事、未来への希望などを共有してゆきます。ブリーフセラピーは限られたセラピーの時間でそのクオリティを追求します。また、実験心理学的手法を用いてその効果を検討します。

坂上 裕子 Hiroko Sakagami

【専門分野】 生涯発達心理学、臨床発達心理学、社会情動発達

私たちの物事の感じ方、考え方、振る舞い方は、誕生から死に至るまで、生涯を通じて変化、発達していきます。そのプロセスは、ひとりひとりユニークなものですが、そこには多くの人に共通してみられる変化もあります。このような発達のプロセスを学ぶことは、あなたがこれまでの歩みを振り返り、これから先の歩みを考えていく上で、きっと役に立つはずです。

繁樹 江里 Eri Shigemasu

【専門分野】 社会心理学、対人コミュニケーション、産業・組織心理学

社会心理学は、人の態度や行動が周りの人や社会にどのように影響されるかを解明します。コミュニケーションについて学ぶと、その複雑さの仕組みが見えてきます。なぜあの人はあんな行動をするのか、なぜこのグループはうまく行かないのか、という疑問に答えられるようになるはずです。

松田 いづみ Izumi Matsuda

【専門分野】 心理生理学、認知神経科学、犯罪心理学、統計学

人の心を知りたいときは、ふつう、言葉や行動に注目します。でも、脳や身体の変化を測ることではじめて見えてくる心の側面もあります。心拍や呼吸、脳波を測定することは、基礎的な研究だけでなく、犯罪捜査や感性評価にも応用されています。脳や身体を含めて、総合的に人間の心を理解していきましょう。

森脇 愛子 Aiko Moriwaki

【専門分野】 臨床発達心理学、障害児・障害者の心理学、多職種連携

多様な学び方・働き方ができ、そして大切な人と関わりながら生きていくことは、子どもと大人、障害の有無にかかわらず実現されるべきことです。その人らしいスタイルが尊重され、活かされ、認められる環境や社会にしていけるためには何が必要なのでしょう。心理学的な視点や手法を用いて解明します。

薬師神 玲子 Reiko Yakushijin

【専門分野】 認知心理学、知覚心理学

認知心理学は、人間の知覚や認識の仕組みを明らかにしようとする心理学の一分野です。普段、私たちが何気なく「見たり」「考えたり」しているとき、実は、脳ではとても複雑な作業が行われています。その仕組みを知ると、例えば自分と他の人の考え方の共通点や相違点について、これまでと違う見方ができるかもしれません。

田中 里実 Satomi Tanaka

【専門分野】 臨床発達心理学、臨床心理学、発達障害臨床

心理臨床のスタートは“知ろうとする”ことです。自分の価値観や思いを大切に、でもそれをそっと脇に置いて、目の前の相手やものごとに謙虚に、真っ新に向き合うこと。そんな“知ろうとする”プロセスと一緒に体験しましょう。その体験は、これからみなさんが歩むどんな道でも、きっと役に立つはずです。

中鉢 路子 Michiko Chubachi

【専門分野】 臨床心理学、精神科領域の心理的支援、子育て支援

苦悩を抱えた人が、人との出会いのなかで、「自分らしさ」を取り戻していく過程に関心を持ってきました。臨床心理学は、科学的な視点、様々な理論や知識とともに、多様な人との出会いの場で実際に感じ考えていく実践的な学問です。人を多面的に深く共感的に理解しアプローチする方法を学ぶことができます。

学部所属**伊藤 悟 Satoru Itoh**

【専門分野】 キリスト教神学、キリスト教教育 (学校、教会、家庭)

宗教とりわけキリスト教は、文化や人の生き方に大きな影響を与えます。日本では宗教が祭儀や慣習、年中行事という側面だけで考えられがちですが、信じる宗教によって人間観や世界観が異なり、人の生き方やものの見方、文化形成や社会形成を大きく左右します。青山学院を創立したのもキリスト教信仰に背中を押されて来日した宣教師たちでした。

Corey WAKELING コーリー ウェイクリング

【専門分野】 英語圏現代文学、世界演劇、批評論

英語圏現代文学は、言語の表現における没入的な体験を提供します。文学を理解する際、文脈での表現の現実や可能性に立ち向かうことができます。歴史の根底を揺るがす作品は、英語圏を探究する変革的なアプローチを可能としましょう。言語芸術によって、未来志向の考えや想像力について自身の思索を巡らすこととなり、知性と洗練さを伴う表現を吟味します。

高木 亜希子 Akiko Takagi

【専門分野】 英語教育学、応用言語学

英語教育学では、英語教育について、目的、内容、方法、教材、教師、学習者、評価等様々な観点から考察します。英語を学んだり、指導したりするにあたり、社会的・文化的な影響を考慮した上で、私たちがどのような過程で言語を習得するのか理解すれば、一人ひとりに適した英語学習や教授のあり方が見えてくるでしょう。

山本 史歩子 Shihoko Yamamoto

【専門分野】 歴史言語学

英語概説は、英語を外国語として学ぶのではなく学問として学びます。例えば、英語の母音と子音の発音方法や音の連続性、語と語は線的ではなく階層的に結びついて文を構成していること、意味には文字通りの意味と言外の意味があることなど、更には、英語の歴史や地理的方言・社会的方言など多岐に渡り英語の不思議を体感できます。

在学生の声

心理学科

新時代を生きるために

小峰 隼

[心理学科1年]



青山学院大学の心理学科では、科学的に、しかし時に特有のアプローチで人の心に迫る心理学という学問を1年次から丁寧に学ぶことができます。現在、心理学の中の様々な分野を横断する授業や、各分野の概論、初歩的な研究方法を学ぶことによって、広い場面で活かせる理解力や実践力を養うことができていると感じています。2020年からの新型コロナウイルスの世界的な拡大を受けて、今、人々との関わり方が大きく変化しています。新しい生活スタイルが確立されていくなかで、人の心の在り方もまた新しくなっていくのだと思います。新しい世界を進んでいかなければいけない私達ですが、「心」というものは、どのような進路をとったとしても扱うことになるものだと思います。サークル活動、アルバイト、将来、どんなことにも活かすことができるし、どんなことにも生きてくると思います。充実した環境と生活を是非掴みに来てください。

出会いと成長の日々

岡田 めぐみ

[心理学科2年]



私は、将来カウンセラーになるために臨床心理士と公認心理師の資格の取得を目指しています。入学当初は明確な目標がなく、コロナ禍によるストレスもあり、迷うことや辛く感じることもありましたが、しかし、大学での学びや経験、様々な出会いを通して、誰もが悩みや困難を抱えながらも毎日を懸命に生きていることを知り、少しでも多くの人の心や健康な生活を支える仕事をしたいと思うようになりました。

青山学院大学では、まず1年次に心理学の基礎を学びます。2年次になると、様々な分野についてより専門的に学ぶことができるほか、実験を始めとする様々な心理学研究法についての授業も始まり、レポートが多く大変なときもありますが、将来心理士を目指すための精神力が鍛えられ、以前より確実に成長できていると感じています。一人暮らしをしながら、勉強やサークル活動、アルバイトなど、忙しい毎日ではありますが、全ての経験が成長に繋がると信じ、これからも努力していきたいです。

心の「？」を科学する

中村 一太

[心理学科3年]



私には、「なんでわかんないかな」が口癖の、元バスケット部で高身長、学部では物理学を専攻して現在は不動産の営業をしている友人がいます。順序良く体系的に説明しても相手に理解してもらえない時に、よくこのセリフをつぶやいています。皆さんも「なんでできないの？わからないの？」と言いたくなる時ってありますよね。心理学は、そんな心に関する「なぜ？」を科学的に明らかにすることができます。心理学科では学年ごとに必修科目が設けられており、3年次の必修科目である特別研究演習Ⅰ・Ⅱでは全員がゼミに所属し、各々が自分の興味関心に従ったテーマについて研究をします。いきなり研究！？となるかもしれませんが、実は心理学統計法や心理学研究法を2年次に学んでいるため、知らぬ間に基礎は作られています。用意周到なカリキュラムですね。ちなみに先ほどの友人は女性です。どちらをイメージしていましたか？それはいったい「なぜ」でしょうね。

充実した日々を

安部 純礼

[心理学科4年]



私は高校生の頃、アルバイトをする中で世代を問わず沢山の人と関わる機会があり、人それぞれ異なる心理について深く学びたいと思い、青山学院大学の心理学科に入学しました。本学科では、認知・発達・社会・臨床など、様々な分野を専門的に学べる環境が整っており、自分自身の興味に合わせて幅広い視点から知識を身につけることができます。私は社会心理学に興味を持ち、3年次にはSNSを利用する人の心理に着目した調査を行いました。仲間と切磋琢磨しながら一から作り上げた研究を通じて、心について深く学ぶことができたのと同時に、大きな達成感を味わうことができました。

卒業後は民間企業に就職し、人の心に寄り添い、幸せや感動を創造し続けられる人へと成長したいと考えています。心理の専門家を目指す人もそうではない人も、ぜひ青山学院大学の心理学科で目には見えない「こころ」について科学的な視点から理解を深め、充実した大学生活を送ってほしいです。

キャンパスガイド

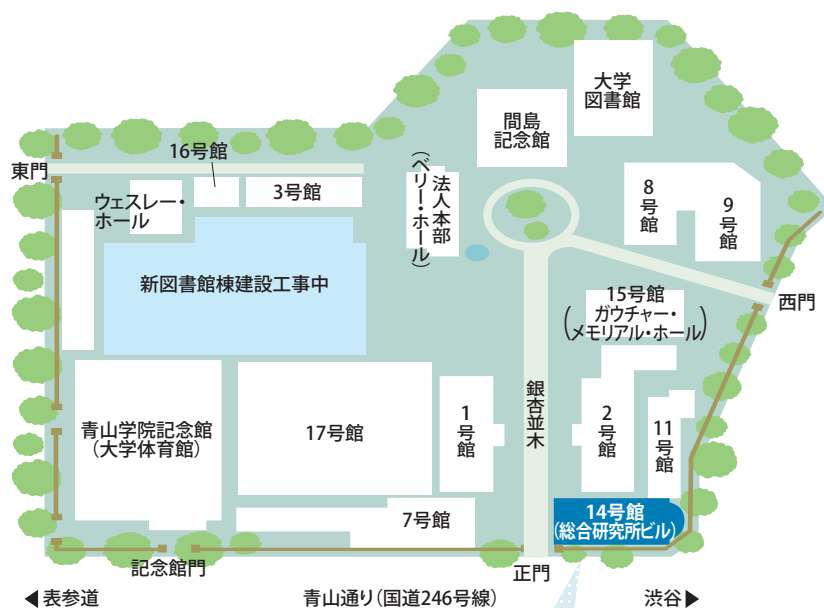
CAMPUS GUIDE

青山キャンパス

AOYAMA CAMPUS

伝統を誇り、 創造を追究する知の先端キャンパス

青山学院創設以来の伝統を誇る《青山キャンパス》。
学術研究、文化創造における確かな実績を礎に、
知の最前線を常に目指す、
その精神はよりよき次代の創造に向けて
広く社会へと発信されています。



教育学学科研究室(14号館9階)

教育学学科では、学生と教員の教育研究活動をサポートするために教育学学科研究室を設置しています。総研ビル(14号館)の9階にある研究室には、教育学関係の図書、雑誌が多く所蔵されている他、パソコンや印刷機など学習や講義準備に必要な設備があります。学習スペースでは、学生が授業で発表するための準備、話し合いを行ったり、教員の指導を受けたりなど、学生、教員に広く利用されています。



心理学学科研究室(14号館7階)

心理学合同研究室は総研ビル7階にあり、心理学科の学生であればどなたでも利用可能です。研究室には心理学に関する本や雑誌、パソコンも完備されており、学生が自由に学習できる環境が整っています。もちろん授業で使用する資料の印刷なども可能です。
また、研究室内では上級生が下級生に対して熱心に研究の指導をする姿なども見受けられ、学年間の垣根のない、心理学科ならではのアットホームな雰囲気も漂っています。

キャンパスライフ

Calendar & Event

オリエンテーション

履修ガイダンス

健康診断

入学式

前期授業開始

新入生歓迎礼拝

履修登録

アドバイザー・グループ・デー

夏期休業

相模原祭

後期チャペル・ウィーク

青山祭

クリスマス礼拝

冬期休業

春期休業

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
April	May	June	July	August	September	October	November	December	January	February	March

ジョン・ウェスレー回心記念日礼拝
前期チャペル・ウィーク
ペンテコステ礼拝

補講
前期定期試験

後期授業開始
9月学位授与式

創立記念日(16日)
創立記念礼拝
クリスマス・ツリー点火祭

後期授業再開
補講
後期定期試験

卒業礼拝
学位授与式

特別教室・実験室

教育人間科学部では、教育学・心理学を中心にした多彩な学習・研究の機会を学生に用意するために特色ある授業を配置しています。そのための特別教室・実験室を配備し、より実践的な専門性の高い学びを提供しています。ここでそのいくつかを紹介いたします。

教育

図画工作室



図画工作室には実技指導にも対応できるよう、工作机をはじめ、電気焼成炉や様々な道具類が備え付けられています。

器楽練習室



アップライトピアノが配備された器楽練習室とグランドピアノを用いレッスンを行う器楽室があります。

ICT活用教育演習室



電子黒板、デジタル教科書、タブレットPCなどのICTを活用した授業方法を実践的に学んだり、これらの機器を使って討論をしたりします。

心理

心理学実験室



サーモグラフィーや脳機能計測装置といった様々な実験器具が設置しており、学習・研究に活用されています。

面接室



自己の内面をセラピストと一緒に探索する中で相談者の自己理解が深められます。心理検査も実施されます。

プレイルーム



子どもは、内的葛藤を言語化できないが、遊びの中に内的葛藤が表現されるため、遊戯療法が使用されます。

国際交流・留学

留学プログラム

青山学院大学では、意欲的な学生の留学を支援するために、さまざまな留学プログラムを用意しています。
各自のレベルや留学先、期間、目的に合わせてプログラムを選択することができます。

長期留学

青山学院大学を休学せずに留学することができ、留学期間が本学の修業期間に算入されるので、卒業要件を充足した場合、4年間で卒業することが可能です。長期留学には協定校留学と認定校留学があります。

協定校留学(派遣交換留学)

協定校留学(派遣交換留学)とは、本学との間に学生の相互交換協定を締結した大学に学生を派遣し、また受け入れる制度です。派遣交換留学生になるためには、出願資格を満たし、学内の書類審査および面接による選抜に合格することが必要です。

認定校留学

協定校以外の大学に留学を希望し、本学が留学先大学として認定した場合、留学先で修得した単位を本学の卒業要件単位として算入し、休学をしないで卒業することが可能です。認定校留学の場合は、本学と留学先大学の双方に学費を払う必要があります。

短期留学

夏期あるいは春期の休暇期間を利用して、語学力の向上と国際理解を目的とした短期留学「海外語学・文化研修」を実施しています。

【2022年度夏期研修先(予定)】アメリカ、イギリス、カナダ、スペイン
【2022年度春期研修先(予定)】アメリカ、カナダ、オーストラリア

休学留学

本学に休学願を提出し、休学して長期留学する場合があります。休学しての留学では、留学期間は本学の修業期間とならないので4年間で卒業することはできません。
また、個人での留学のため、留学先がたとえ本学の協定校や認定校であったとしても、修得した授業科目の単位は本学の単位としては認定されません。

派遣留学生のための奨学金制度

青山学院国際交流奨学金

青山学院国際交流事業の一環として、本学学生に海外留学を奨励し、国際化時代に対応できる有能な人材を育成すること等を目的とした給付奨学金です。協定校・認定校への留学候補者の中から選抜した学生に対し、一定額を給付します。

青山学院大学産学合同万代外国留学奨励奨学金

外国留学における経済的負担の軽減と、外国留学の奨励に資することを目的として、海外留学を志す本学学生に、本学と産業界が合同で学業資金として一定額を給付します。

(独)日本学生支援機構海外留学支援制度(協定派遣)

諸外国との相互理解と友好親善を増進し、日本人学生の海外留学を促進すること等を目的とした給付奨学金です。協定校への留学候補者の中で選考を行い、(独)日本学生支援機構の審査に合格した学生に支給されます。(年度によって割当がない場合があります。)

国際センター

国際センターでは、協定校留学や認定校留学などに関する相談を受け付けています。留学オリエンテーションや各種留学セミナーなどを開催しているほか、海外の大学の情報など豊富な資料を取り揃え、いつでも閲覧できるようにしています。

●留学体験レポート



広がった価値観の幅

牧野 奈々
[教育学科4年]

留学先名(大学)、国名
ILSC Vancouver、
Greystone College(カナダ)
2019年9月～2020年6月

幼い頃から海外への憧れが強く、いつか留学すると決めていました。小学校教師を目指す身として、せっかくなら英語教授法を学ぼうと考え、留学先を選びました。英語教授法を学んだ経験は、確実に私の強みになるとは思います。それ以上に留学は私の価値観の幅を広げ、人として成長させてくれました。

カナダは移民国家で、様々な国籍や肌の色、宗教や性自認を持つ人々が共存する国です。最初は驚くことばかりでしたが、次第に「当たり前」の風景として受け入れられるようになりました。また、語学学校で世界中の友人と共に過ごす中で、異文化の面白さを知りながらたくさんの経験ができました。熱狂的なダンスや各国の新感覚料理も忘れられない思い出です。最後の3か月間は感染症の影響でオンライン授業になりましたが、休校になったホストシスターの宿題を手伝ったり、毎晩みんなでボードゲームをしながらおしゃべりしたりと、ホストファミリーと濃い時間を過ごすことができました。



困難な時を楽しむ

山川 華奈
[心理学科3年]

留学先名(大学)、国名
ec Brighton(イギリス)
2020年3月～2020年6月

左が本人

イギリス留学は中学生の頃からの夢でした。当初は約1年間の留学を予定していましたが、イギリスでは2020年3月中旬から新型コロナウイルスによりロックダウンが開始し、結果として3ヶ月間の留学となりました。想像していた留学生活とは180度異なりましたが、素敵なホストファミリーに恵まれ、かけがえのない大切な時間を過ごしました。困難な時を、見知らぬ土地で乗り越えることができたのはBrightonの美しい自然と動物、そして人のおかげです。毎日ルームメイトと散歩をして、写真を撮って動画を作ったり、ピクニックをしたり、素晴らしい日々でした。ロックダウン前に出会った仲間とは今でも近況報告をしています。サウジアラビアやドイツ、タイ、韓国、ブラジル、それぞれの国のことを、その国の人の生の声で聞くと世界が広がります。帰国後もオンラインで学びを続け、英語で書かれた心理学に関する論文を読むことにも楽しさを見出せます。今、留学を振り返り、心からの感謝と、挑戦して良かったという想いでいっぱいです。

奨学金・表彰制度

意欲的に学ぶ学生を支援するための奨学金制度

本学で学ぶ皆さんを支援するため、独自の奨学金制度と表彰制度を設けています。

返還する必要のない「給付奨学金」と、卒業後に返還する「貸与奨学金」の2種類があり、経済支援を目的とした奨学金のほか、留学や課外活動支援を目的とした奨学金制度も設けています。

	給 付	貸 与
学 内	■ 入学前予約型給付奨学金「地の塩、世の光奨学金」 ■ 青山学院大学経済支援給付奨学金 ■ 青山学院大学経済支援給付奨学金(緊急) ■ 青山学院大学経済援助給付奨学金 ■ 青山学院スカラーシップ(冠奨学金) ■ 青山学院大学産学合同万代外国留学奨励奨学金 ■ 青山学院国際交流基金奨学金 ■ 青山学院大学産学合同外国人留学生グローバル奨学金	■ 青山学院万代奨学金
学 外	■ 日本学生支援機構(給付型)(※) ■ 日本学生支援機構 海外留学支援制度(協定派遣)奨学金 ■ 留学生受入れ促進プログラム(文部科学省外国人留学生学習奨励費)	■ 日本学生支援機構奨学金(第一種・第二種)
表 彰 制 度	■ 青山学院大学学業成績優秀者表彰制度	■ 地方公共団体の奨学金 ■ 民間育英団体の奨学金(含 私費外国人留学生)

(※)国による修学支援制度の給付型奨学金の部分を指します。

表彰制度 [受賞者の声]

学業成績優秀者表彰

恵まれた環境に感謝

高橋 南帆

[教育学科3年]



このような賞をいただき光栄です。昨年度はほとんどの授業がリモートという難しい状況でしたが、地道な努力を評価していただけたようで嬉しく思います。

学業において、私は何よりも授業中にしっかりと集中するように心がけています。また、支え合える友人たちの存在も大きいです。教育学科には同じく教育に興味があり、一生懸命に学ぼうとする学生が集まってきます。そのような友人たちと学び、考えることは、大変なこともあります。本当に楽しいです。

大学にはサークル活動やアルバイトなど、楽しいことがたくさんありますが、やはり中心は学業です。皆さんにもぜひ自分の学びたいことが学べる環境で、素敵な友人たちと共に学んでほしいです。奨学金をいただいたことにより、一層気を引き締めて学業に励もうという気持ちが高まりました。この先も学びに向かう姿勢をもち続けるとともに、学んできたことを人のために役立てていきたいと思っています。

学業成績優秀者表彰

今できることを始める

井上 えり子

[心理学科3年]

受賞に驚くとともに光栄に思います。2020年、全ての方が精一杯毎日を過ごされたと思います。激しい変化の中、環境を整えて講義してくださった先生方、些細なときにも支えてくれた友人や家族に感謝しております。

講義は将来やりたいことの基本であると思います。先生方はさらに学びたいと思える講義をしてください。多くの実践と経験のある先生方のお話を聴けることは貴重なことです。ディスカッションは自分の考えを整理する機会になり、色々な学生から気づきや新しい視点を得られます。

心理学を学び、学問の広さと深さを実感し、自分のちっぽけさも思い知ります。これからは「それは誰かのためになっているか」ということも考え、答えは一つでないことや心理学以外の観点の存在を忘れないようにしたいと思います。

青山学院大学は研究するための大学として恵まれています。学びだけでなく、入学してよかったと思える出会いや活動も待っているはずです。

卒業後の進路 就職・進路・資格

教育学科

本学科では教職課程を修めることにより、小・中・高等学校および幼稚園の教育職員免許状を取得することができます。また、それぞれの課程を修め、社会教育主事や図書館司書、学芸員などの資格を取得し、関連機関で働くことも可能です。教育+心理の幅広い専門知識はマスコミ関連やサービス業といった民間企業でも大いに活用できるでしょう。このように、卒業後は教員にとどまらない多彩なシーンでの活躍が期待されます。

心理学科

心理学の専門知識は、家庭や教育・医療の現場、企業などあらゆる場面で求められています。小・中・高等学校における教育臨床心理の仕事、各種医療・福祉関連機関の心理職、地域や企業での精神保健に携わる仕事などのほか、社会心理学を活かしたマーケティングや広告の仕事、さらには営業職や法務の分野まで、人間が相手の仕事であれば、心理学の専門知識を存分に発揮できます。

就職・進路サポート

豊富な支援行事、手厚い個別相談、本学独自の就職情報提供を柱に、
高い進路決定の実績を上げています。

1・2年次

自分の興味、適性について考える機会や、進路にあわせたガイダンスを設けています。

3年次

3・4年次の本格的な就職活動時期には、最新の就職情報を順次提供するとともに、各自の活動状況に応じたバックアップを行っています。

4年次

4年次においても、各種セミナーの開催など、きめ細かい支援体制を敷いています。

進路・就職 支援行事

本学では、進路・就職センター（青山キャンパス）／進路・就職課（相模原キャンパス）を設け、1・2年次の早期支援から、3・4年次の本格活動期の支援まで一貫したキャリア・サポートを実施。学生一人ひとりが納得のいく進路決定ができるよう親身な指導に取り組んでいます。

主な行事 インターンシップガイダンス、
公務員ガイダンス、
OB講演会など

個別相談

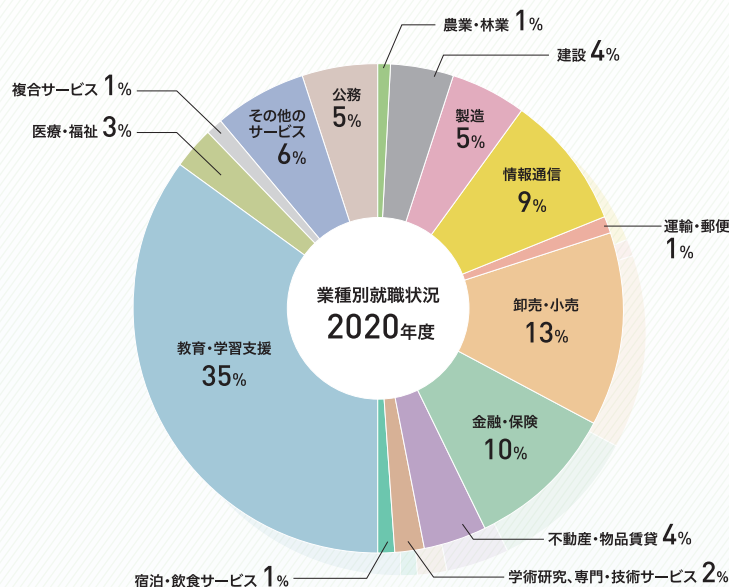
全学年を対象に、手厚い個別相談を行っています。利用件数は年間1万件を上回り、卒業するまでに学生の2人に1人は利用している計算になります。相談には職員とキャリアカウンセラーで対応し、共に考えて話し合うことで、一人ひとりが納得のいく進路決定ができるように支援を行っています。

オリジナル Web サイト Web Ash

求人情報や入社試験情報、OB・OG情報など進路・就職センター（青山キャンパス）と進路・就職課（相模原キャンパス）に集まる独自の情報を、入手することができます。

卒業後の進路 就職・進路・資格

教育学科



2020年度 就職先等一覧

農業・林業 有限会社瑞穂農場	ネットワシシステムズ株式会社 株式会社ボードア 株式会社ユーキャン	金融・保険 藍澤證券株式会社 株式会社あおぞら銀行 S M B C 日興証券株式会社	教育・学習支援 株式会社創英コーポレーション 学校法人関東学院 国立大学法人岡山大学	医療・福祉 S B C メディカルグループ 社会福祉法人埼玉育児院 株式会社ベネッセスタイルケア
建設 株式会社奥村組 株式会社キクチ 日本道路株式会社 株式会社バーバスエコテック ボラス株式会社 前田道路株式会社	運輸・郵便 ヤマト運輸株式会社 卸売・小売 株式会社アダストリア 株式会社内田洋行 エムエム建材株式会社 貝印株式会社	株式会社ジャックス 住友生命保険相互会社 大東京信用組合 東京海上日動火災保険株式会社 日本生命保険相互会社 東日本建設業保証株式会社 富国生命保険相互会社 みずほ証券株式会社 株式会社横浜銀行 りそなカード株式会社	株式会社三幸学園 株式会社シーケンス 株式会社湘南ゼミナール 株式会社日能研 株式会社ベネッセコーポレーション ライクキッズ株式会社 株式会社臨海 株式会社ワンズウェイ	複合サービス 日本郵便株式会社 その他のサービス 静銀ビジネスクリエイト株式会社 セコム株式会社 株式会社10ANTZ パーソルキャリア株式会社 パーソルテンプスタッフ株式会社 株式会社パソナグループ 株式会社フィエルテ レンダ・コーポレーション株式会社
製造 コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 住友電気工業株式会社 大日本印刷株式会社 日本ビニール株式会社 富士通株式会社 株式会社マイナビ 三菱電機株式会社 明星食品株式会社 株式会社山梨日日新聞社	株式会社クマヒラ 株式会社京王百貨店 国分グループ本社株式会社 コンドテック株式会社 株式会社ジーユー J F E 商事株式会社 株式会社テイクアンドグヴ・ニーズ 株式会社ニシヤマ 阪和興業株式会社 株式会社ファーストリテイリング 株式会社フクシー 富士ゼロックス神奈川株式会社 株式会社プラスデ 株式会社ボーネルンド 松田産業株式会社 三愛食品株式会社 株式会社ココマテレナード 菱洋エレクトロ株式会社	不動産・物品賃貸 株式会社TOKYO NET WORTH 富士ゼロックスサービスクリエイティブ株式会社 プロバディエージェンツ株式会社 三井不動産株式会社 三井不動産リアルティ株式会社 株式会社ルミネ 学術研究、専門・技術サービス 添田経営合理化株式会社 株式会社サン・フレア 株式会社明治アドエージェンシー レイス株式会社 宿泊・飲食サービス アパホテル株式会社 株式会社ホスピタリティオペレーションズ	株式会社ベネッセコーポレーション 学校法人三幸学園 株式会社シーケンス 株式会社湘南ゼミナール 株式会社日能研 株式会社ベネッセコーポレーション ライクキッズ株式会社 株式会社臨海 株式会社ワンズウェイ 公立・高等学校・茨城県 公立・高等学校・神奈川県 公立・高等学校・埼玉県 公立・高等学校・東京都 公立・小学校・神奈川県 公立・小学校・千葉県 公立・小学校・東京都 公立・小学校・北海道 公立・中学校・埼玉県 公立・中学校・東京都 私立・高等学校・茨城県 私立・高等学校・埼玉県 私立・高等学校・千葉県 私立・高等学校・東京都 私立・幼稚園・埼玉県 私立・幼稚園・千葉県 私立・幼稚園・東京都	公務 国家公務員・東京都 地方公務員(市町村)・神奈川県 地方公務員(市町村)・千葉県 地方公務員(市町村)・長野県 地方公務員(特別区)・東京都 地方公務員(都道府県)・神奈川県

■教員免許状取得件数【教育学科実績】

年度	種別		幼稚園		小学校		国語		社会		地理歴史		公民		英語		合計件数	免許状 取得人数
	1種	2種	1種	2種	1種	2種	中学1種	高校1種	中学1種	高校1種	中学1種	高校1種	中学1種	高校1種	中学1種	高校1種		
2016年	50		76		16		16		13		12		10		22	19	234	121
2017年	56		91		14		13		8		7		4		23	23	239	133
2018年	49		79		31		30		10		10		3		27	27	266	144
2019年	52		61		13		12		9		9		5		21	19	201	109
2020年	37		68		21		20		12		9		7		34	31	239	129
合 計	244		375		95		91		52		47		29		127	119	1179	636

■教員採用者数【教育学科実績】

年度	種別		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		年度別 合計人数
	公立	私立	公立	私立	公立	私立	公立	私立	公立	私立	
2016年	2	9	25	2	3	0	0	2			43
2017年	2	11	41	2	3	1	1	0			61
2018年	0	7	36	3	2	5	5	1			59
2019年	1	6	20	3	4	1	6	1			42
2020年	0	8	23	0	6	4	4	0			45
合 計	5	41	145	10	18	11	16	4			250

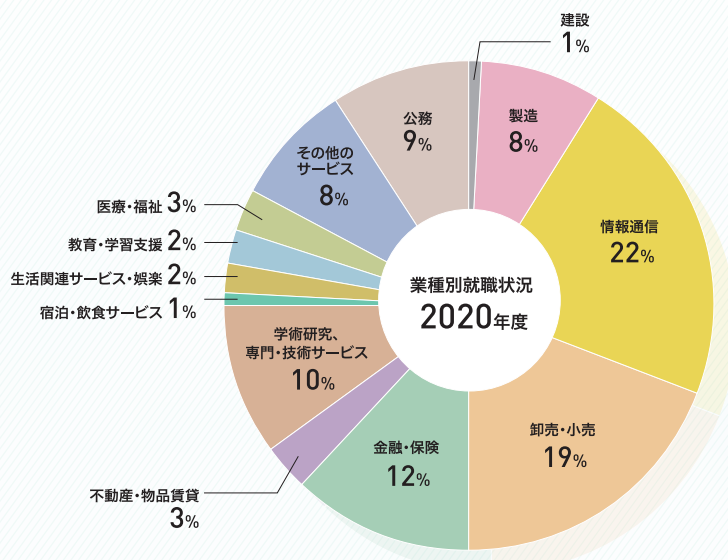
4月1日時点

■各種資格取得件数【教育学科実績】

年度	種別	社会教育 主事	司書	司書教諭	学芸員	年度別 合計人数
2016年		5	2	20	0	27
2017年		8	4	12	0	24
2018年		10	2	25	0	37
2019年		6	7	20	1	34
2020年		4	1	16	0	21
合 計		33	16	93	1	143

※大学院・既卒者・非常勤は含んでいません。また、中・高等学校(中・高一貫制)は中学校として算定しています。
出所・教職履歴カード(教職課程課)及び進路届(進路・就職センター)の届出による

心理学科



2020年度 就職先等一覧

建設 株式会社熊谷組	トランス・コスモス株式会社 日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社 日本ユニシス株式会社	株式会社丸井グループ 三菱電機環境システムズ株式会社 メーカーズシャツ鎌倉株式会社	学術研究、専門・技術サービス 株式会社イーエムネットジャパン 株式会社SRL	医療・福祉 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 東京都国民健康保険団体連合会 株式会社ベネッセスタイルケア
製造 株式会社アルページュ 株式会社MMコーポレーション 三幸製菓株式会社 日東工器株式会社 株式会社平和 株式会社マイナビ	株式会社ビッグツリーテクノロジー&コンサルティング 株式会社ランドスケイプ 株式会社レイヤーズ・コンサルティング 株式会社YSLソリューション	金融・保険 株式会社SMB C信託銀行 岡三証券株式会社 株式会社きらぼし銀行 株式会社クレディセゾン 株式会社JALUX保険サービス 株式会社新生銀行 住友生命保険相互会社 チューリッヒ・インシュアランス・カンパニー・リミテッド 日本コプ共済生活協同組合連合会 日本生命保険相互会社 明治安田生命保険相互会社	株式会社F.L.P. エムスリーキャリア株式会社 株式会社サイバー・コミュニケーションズ 株式会社第一通信社 株式会社電通マネジメントサービス 株式会社東急エージェンシー PWC京都監査法人	その他のサービス 株式会社TMJ 株式会社dot 株式会社ネオキャリア 横浜農業協同組合 ライクスタッフィング株式会社 株式会社LITALICO 株式会社ワークポート
情報通信 株式会社アシロ 株式会社NTTデータ・アイ 株式会社NTTデータMSE MUSE情報システム株式会社 株式会社オービックビジネスコンサルタント 株式会社学情 株式会社キューブシステム サンネット株式会社 株式会社シティ・コム 株式会社ソフトクリエイティブホールディングス 大興電子通信株式会社 株式会社ティール・ワイ・オー	卸売・小売 株式会社AXES エムサービス株式会社 片岡物産株式会社 株式会社関東マツダ JFE商事鉄鋼建材株式会社 株式会社JPホールディングス 株式会社シモジマ 太平洋セメント販売株式会社 ダイワボウ情報システム株式会社 株式会社Delight 株式会社ドリテック 西川株式会社 日販グループホールディングス株式会社 株式会社ファンケル	不動産・物品賃貸 株式会社イチネンTDRリース 株式会社オープンハウス 武蔵コーポレーション株式会社	宿泊・飲食サービス リゾートトラスト株式会社	公務 国家公務員・東京都 地方公務員(市町村)・茨城県 地方公務員(市町村)・神奈川県 地方公務員(市町村)・東京都 地方公務員(都道府県)・神奈川県 地方公務員(都道府県)・東京都
生活関連サービス・娯楽 株式会社白洋舎 株式会社LAVA International	教育・学習支援 学校法人三幸学園 株式会社日本保育サービス			

■公認心理師・臨床心理士

公認心理師は心理専門職の国家資格であり、定められたカリキュラムを大学および大学院修士課程(博士前期課程)で充足し、国家試験に合格することで取得できます。本学大学院のカリキュラムは、公認心理師取得に対応しています。

臨床心理士は、(財)日本臨床心理士資格認定協会が認定しています。本学大学院は、大学院修士課程(博士前期課程)を修了後、実務経験を経ることなく受験資格を得ることができる第1種指定大学院です。

公認心理師



臨床心理士



※本学大学院心理学専攻

本学の大学院心理学専攻は、すでに60年以上にわたる歴史を持ち、心理学分野におけるさまざまな研究成果を上げるとともに、数多くの専門家を輩出しています。

■大学院進学者数・臨床心理士資格取得者数・公認心理師資格取得者数

大学院進学者数
2020年度 9名
(他大学大学院への進学を含む)

公認心理師資格取得者数
2020年度 4名
2020年度までの累積 15名
(届出のあった者のみ掲載)

臨床心理士資格取得者数
2020年度 4名
2020年度までの累積 259名
(届出のあった者のみ掲載)

Q&A 学部での学び・学生生活についての疑問や不安を解決

Q. 教育学科・心理学科の相互履修による効果とは、どんなことですか？

A. 教育学科の学生にとって

例えば教師を目指す人が、子どもたちが置かれている環境に目を向けることは、とても大切なことです。そこで、心理学科の科目を学び、心のケアに関する専門知識やカウンセリングの技能を身につけていれば、子ども一人ひとりに対する理解が深まり、学校現場でさらに活躍することができます。

心理学科の学生にとって

例えば教育現場で子どもたちの精神的ケアに携わるスクールカウンセラーの場合、学校の組織運営などの理解が求められるようになってきました。そこで、教育学科の科目を学び、教育や教育学に関する専門知識を身につけていれば、より頼りがいのある臨床心理の専門家として、社会で活躍することができます。

Q. 体調を崩した時や、学生生活で悩んだ時は、どうしたら良いですか？

A. 大学生になると誰にでもこれまでと違った新しい環境が待っています。

そんな中で体調を崩してしまったり、ストレスを感じたり、悩んだりすることがあれば右記センターへ相談してください。

右記センターだけではなく、何かトラブルや悩むことがあった場合は、教員や事務室など相談を受け付けますので、一人で悩むことなく、まず相談をするようにしてください。

保健管理センター

健康や医療に関することならどんなことでも相談を受け付けています。また、毎年度初めに、全学生を対象とした「定期健康診断」を行い、病気の早期発見と予防に努めています。

学生相談センター

ストレスやメンタルな問題はもちろんのこと、自己の成長、学業や将来、人間関係、法律相談など、心理カウンセラーや学部選出のカウンセラーが相談にあたります。相談内容の秘密は厳守します。

障がい学生支援センター

障がいや病気、ケガが理由で支援が必要な学生の窓口です。支援の必要な学生が、障がいのない学生と同等の教育・研究の機会を得ることができるよう、入学前から在学期間中、就職・社会参加への移行まで、大学内外の関係各部署や組織・機関と連携し、総合的な支援を目指していきます。

Q. 演習(ゼミ)とはなんですか？

A. 青山学院大学では演習と呼んでいますが、ゼミとはゼミナールの略で、専門分野の知識や技能を身につけるために、担当の教員のもと、自分で調べ研究したことを報告したり、同じゼミ生同士で議論をしたりして学ぶ授業のことです。専門知識のみならず、社会で役立つプレゼンテーションやグループワークについても学ぶことができます。また、ゼミによっては、合宿や旅行を行って親睦を図るなど、教員と学生のコミュニケーションも活発に行われます。

Q. 大学で奨学金を受けたいと思っていますが、いつ手続きをすればよいのですか？

A. 例年4～5月に募集を行いますが、奨学金の種類によって募集時期が異なります。まずは4月上旬に貸与奨学金(要返済)の募集説明会がありますので参加してください。説明会の日時・会場等は、年度初頭に掲示や学生ポータル*によって案内されます。

※ 学生ポータルとは…

青山学院大学が学生の皆さんに向けて、従来の掲示板による情報伝達に加え、各自がパソコンなどの情報端末で迅速、快適、確実に情報を取得できるよう開発され、運用されているもの。入学後に詳細の説明があります。

Q. 奨学金は申し込めば必ず受けられますか？

A. 奨学金の採用は、それぞれの奨学金制度の条件に従い、家計状況および成績等を総合的に審査し、それぞれの採用枠に応じて、出願条件に合致している中から選考されます。貸与奨学金(要返済)の方が給付奨学金(返済不要)に比べて採用率は高くなっています。例年、出願者の9割程度が貸与奨学金を受けています。

大学院について

〔教育人間科学研究科〕

教育と心理に関する、 より高度な専門力を修得

本研究科は、急激に変化しつつある今日の社会状況の中で生じている人間と社会に関わる諸問題に関して、教育学と心理学の理論的研究成果をふまえ、学問的叡智を活かしてさまざまな分野で貢献できる人材を育成することをめざします。高度に情報化され流動化する社会のなかで、より良き生(well-being)を求めて生きる人間の生涯を研究対象とし、哲学、思想、歴史的研究をふまえて発達・成熟・認知・情報・臨床等の研究領域を教育学・心理学から研究し、高度な研究能力と専門職性を修得することを期待しています。

学校ボランティア

教育学科の取り組み

教育学科の学生は、さまざまな保育・教育現場でのボランティアを通して学んでいます。

ここでは幼稚園と小学校でのボランティアを経験した学生の声を紹介します。

幼稚園教諭を目指して学んでいる中で、「自分が先生になれるのか」と不安に感じることもあり、ボランティアを始めました。先生の補助という形で子どもたちと遊びながら過ごす中で、「子どもと関わることが好き」と改めて実感し、「幼稚園教諭になりたい」と強く思うことができました(来年度からは幼稚園教諭として働くことが決まりました)。ボランティアを通して学び、将来について考えることもできて、とてもよかったと感じています。

母校の小学校に週1回通い、低学年・支援級で、とくに授業に参加することが難しい子どもに付き添っています。サポートを必要とする子どもは予想外の動きをするので対応が難しい分、成長が見られた時にはやりがいを感じます。また先生や子どもの言葉、動きを客観的に見ることで勉強になります。子どもたちが慕ってくれることも嬉しく、これからもボランティアを通して学びたいと考えています。

同窓会の活動

心理学科の取り組み

「誰かが、やってくれるだろう」…人数の多いグループに所属すると、冒頭のような傍観者効果と呼ばれる心理になりがちであることが、ラタネとダーリーという2人の心理学者によって明らかにされました。1970年のことです。それから50年が経とうとしても人間の心は変わらず、同窓会開催という文脈においても傍観者効果が生じました。「誰かが、開催してくれるだろう」と、開催が不定期になってしまっていたのです。

2019年、久しぶりに同窓会を開催したところ、100名を超える同窓生、さらには在学生と教職員が参加し、盛会となりました。同窓生の中には、ベンチャーや大企業をはじめとする企業人はもちろん、フリーの心理士や大学の研究者、帰郷した公務員など、多様な人材がいることが分かりました。これは定期的に同窓生の現在をアップデートして、心理学科との繋がりを再確認する必要があると思い、学科創設20周年を迎える2020年以降は隔年での開催を予定しています。

『卒業生の』誰かが、『様々なフィールドで』やって(=活躍をして)くれ(てい)るだろう、と頼もしさを感じる。

それがアップデートされた心理学科同窓会の特徴です。(同窓会長)



公認心理師・臨床心理士資格

2017年9月に公認心理師法が施行され、心理専門職の国家資格の教育訓練が2018年度から始まりました。基本的には、大学と大学院で指定された科目を履修することで受験資格が得られます。一方、臨床心理士資格は財日本臨床心理士資格認定協会が認定する資格であり、1988年に設立

されて以来30年以上の歴史を持ち、2020年4月1日現在で37,249名が認定されています。こちらは大学院で指定された科目を履修することで受験資格を得ることができます。今後は、他の専門職でもみられるように国家資格と認定資格が共存する形で補強し合い、発展すると思われます。

教育学専攻

幼児期から老年期に至る
ライフサイクル全体を視野に入れた
幅広い研究

幼児児童臨床、生涯学習、障害児臨床教育、メディア論、臨床教育、比較教育、教育史、教育思想、教育哲学、教育社会学など幅広いカリキュラムを編成しています。幼児期から青年期、成人期を経て老年期に至るライフサイクル全体を視野に入れながら、理論的、実践的、学際的な研究を進めることができます。

心理学専攻

2つのコースに分かれた、
多様な研究テーマに対応できる
教員スタッフとカリキュラム

本専攻は「心理学コース」と「臨床心理学コース」に分かれています。臨床心理学コースでは、国家資格である公認心理師カリキュラムに対応し、かつ、財日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院に認定されています。教員スタッフとカリキュラムは、大学院生の多様な研究テーマに対応できるように編成されています。

地の塩、世の光

2022.2.1 発行 Printed by YOSHIDA PRINTING INC.